

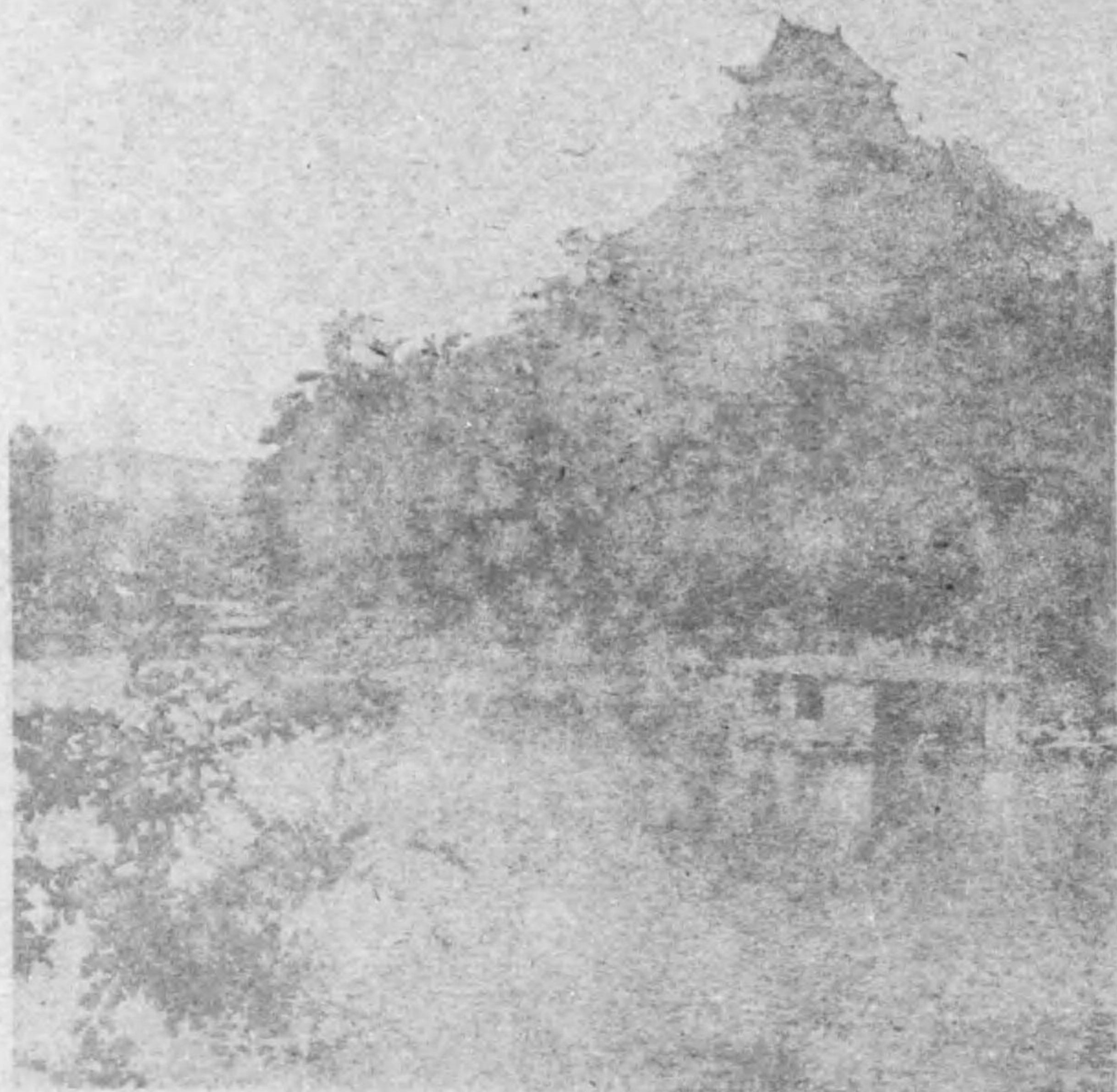
山岡の光観

特234

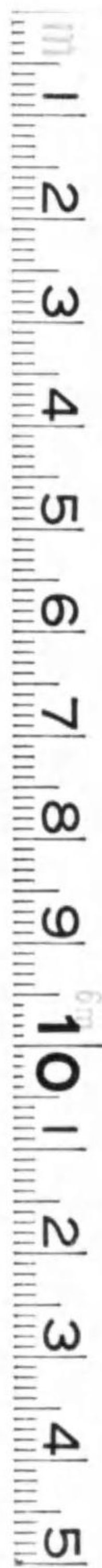
3

189

2



—行發社傳宣山岡—



始



|| 童話と童謡で有名な

桃太郎と吉備團子の由来 ||

童話や童謡で有名な桃太郎さんのお伽噺の作者であります吉備眞備公が、其の祖先吉備津彦命を桃太郎さんに擬して作られたものであります。吉備津彦命は紀元三百七十三年三月十三日孝靈天皇の第三皇子として大和國粟田の宮で御生れになりました。御本名を五十狹芹彦命と申し奉り御勇しく、又御情深き御方でありました。景行天皇の御代賊徒平定の爲め四道將軍に選ばれ給ひ、その十七年七月吉備津路へ向はせられました。御伴に随つた者は、犬養、鳥養、猿養の諸性等で軍船は難波の津より舟出なされ、吉備の國妹尾、明神岬にお着きになりました。土地の漁師多八なるものが、命の御陵威に浴し嬉しきまゝに稻黍で團子を作り献上致しました。(これが有名な岡山名物吉備團子の濫觴だと言はれてゐます。)命は殊の外御満足遊され道案内役して家來に加へられました。岬より一里北方の吉備中山に本陣を布かれたので御座ります。此所が現在の官中社吉備神社の在る所であります。

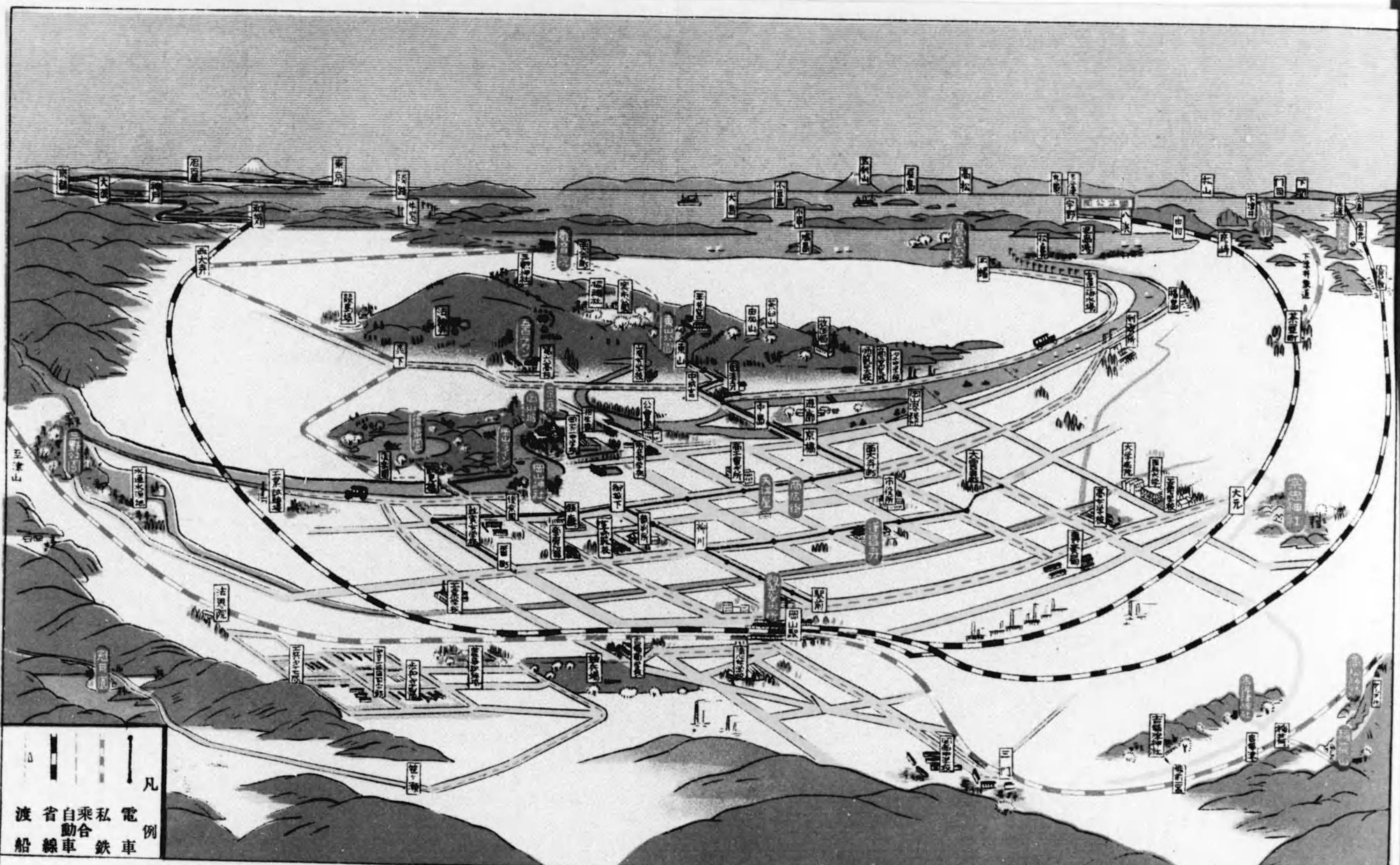
次に鬼ヶ島とは備中國阿曾村岩屋と新山一帯の事で、昔百濟國の温羅と云ふ豪族が、此の地に住ひ勢力強近海を航行する舟を襲ひ、寶物を掠めたり人を殺すなど悪事の限りを盡し朝廷の御命令に従はなかつたので、引連れ寶物を擄げて、降参致しました。命の御情によつて家來となり忠義を盡したと云ふ事でありました。其命は此地方に仁政を御布き遊され土民は皆其の御威徳に服し、益々富み榮へたとの事で御座ります。現在吉備神社の境内にある釜殿は温羅の生靈を祀つたもので國家の非常時には必らず鳴ると言ふ事である【註】吉備の桃太郎(難波金之助)のパンフレット御入用の御方様は左記へ御申込下さい。無料にて御送り致します。



吉備團子 製造本家 山脇 山月堂

岡山市駅前中通り
電話三六七八番





凡例
 電車 電
 私鉄 乗
 自動車 自
 省船 渡

ハイヤー料金
 一回使用 市内内 五拾銭
 時間貸 (一時間に付) 貳圓
 一日貸 八時間 拾六圓

一日の遊覧ノ一
 岡山驛 汽車賃 往復 六十四圓
 稻荷山驛 徒歩 高松最上位稻荷
 (参拜) ケーブル 往復 (参拜)
 (三十分) 二十五圓 奥の院 (参拜)
 (引返す 車中十分) 備中高松驛 十五分
 高松城址 (見物) (参拜) 吉備
 津驛 徒歩 官幣中社 吉備津神社
 (参拜 休憩) 次は汽車或はバスの時間よくは用
 徒歩 十數町 備前一の宮 (参拜) 汽車
 二十分にして 岡山驛

一日の遊覧ノ二
 岡山驛 車中 宇野線 大元驛 徒歩 數町
 宗忠神社 (参拜) 元の大元驛へ 宇野線
 茶屋町 下車 下津井鐵道 鷺羽山驛
 岡山驛より 鷺羽山頂 (充分景観を
 片道八十八圓 往復 充分景観を
 元へ引返す) 岡山驛

一日の遊覧ノ三
 岡山驛 車中 伯備線 粟栗驛 下車
 (岡山より) バス 三十分 粟溪 (引返
 片道五十圓) 岡山驛

一日の遊覧ノ四
 岡山驛 車中 山陽線 金光驛 徒歩 數
 金光教本部 (参拜 町内) 元へ引返
 線倉敷驛 (市内見物、社務事、或は近郊遊
 元へ引返す) 岡山驛

全山 岡山 宗廟 舊山 蓮昌 五山 岡山 京清 全島 高三 奥市 東山 全武
 山本 住教 岡山 昌羅 放禪 其公 島野 市公 公公 公公 武庫
 縣廳 及教 大教 神會 學寺 漢局 寺橋 二園 園園 園園 園園 虎

杉山 鶴山 衆誕 妙宇 清水 高ケ 全高 犬吉 中國 吉
 作樂 山公 誕樂 覺甘 水宗 松一 松最 養木 備津 備津
 坂神 園及 樂生 覺甘 水宗 松一 松最 養木 備津 備津
 峠社 園及 樂生 覺甘 水宗 松一 松最 養木 備津 備津

井笠鐵道沿線
 砂美 全赤 金真 圓帶 酒鶴 新大
 美海 松光 光禪 通江 津山 原美
 水水 三教 禪師 寺觀 水山 美
 神像 松教 師師 寺觀 水山 美
 天像 三教 禪師 寺觀 水山 美
 神像 松教 禪師 寺觀 水山 美

西大寺鐵道沿線
 金陵 安牛 金寧 山寧 西寧 大寧
 陵山 寧海 寧水 寧浴 寧社
 寧寧 寧寧 寧寧 寧寧 寧寧

伯備線沿線
 阿松 豪山 阿松 豪山
 阿松 豪山 阿松 豪山

作備線沿線
 湯真 神庭 湯真 神庭
 湯真 神庭 湯真 神庭

(題字・榎昌筆)



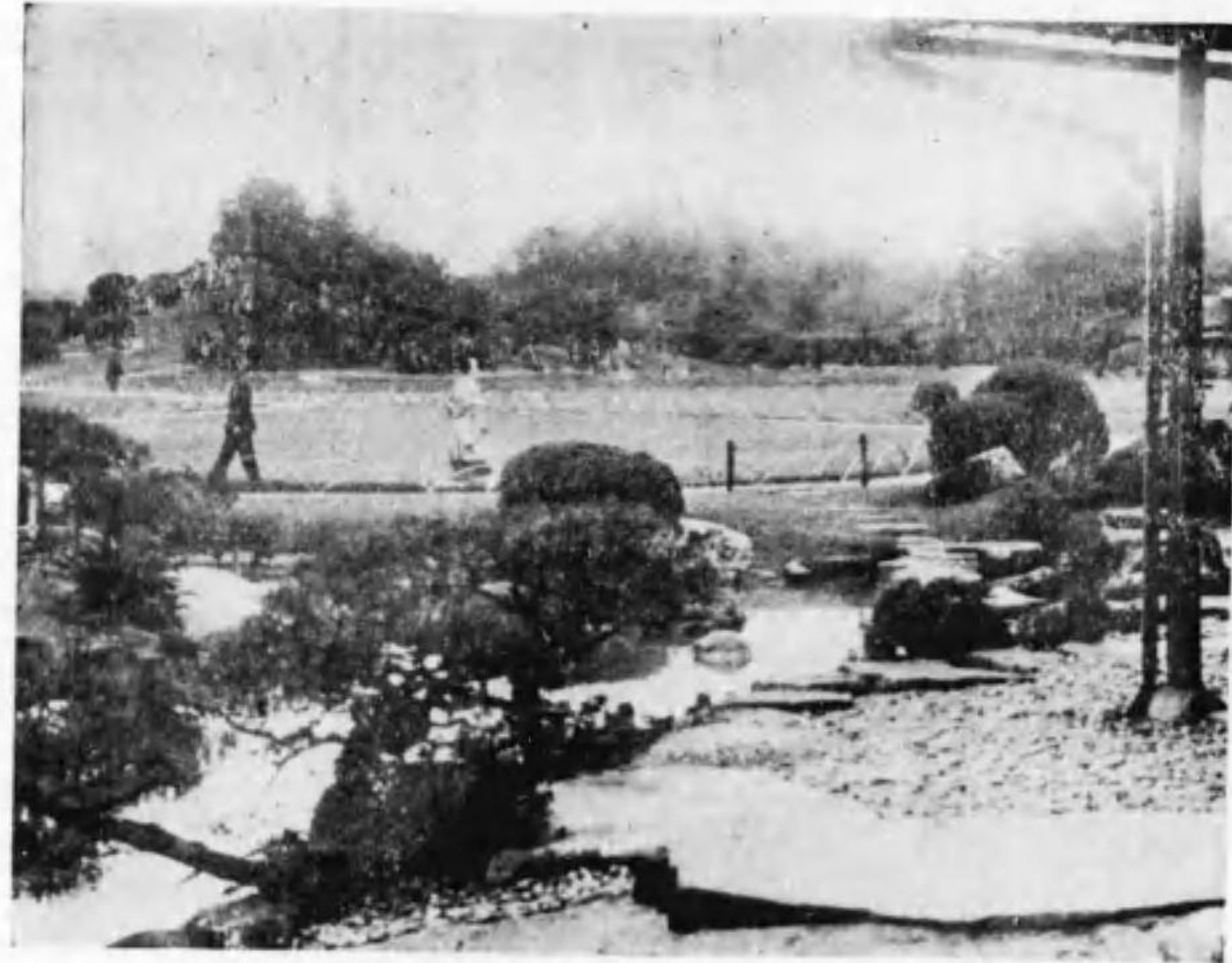
天正元年の秋宇喜多直家これを築造す。
 姫路の白鷺城に對して烏城の名あり。
 岡山市内山下丸の内に在り、乗合自動車
 の便あり、後樂園南口より渡しの便あり

【一其】(寶國)城山岡



宇喜多、小早川氏を経て、代々、池田氏の居
 城たり。
 天主に對して月見櫓あり、國寶に指定さる。

【二其】城山岡



【二其】園樂後

「天下の憂に先つて憂ひ、天下の樂しみに後れて樂しむ」の語に則つて後樂園と名付く
 總面積一千一百四十五アール、藩の老臣津田
 永忠これを奉行す。



橋見鶴

岡山市後樂園入口の旭川に架せられた名橋
 にして、後樂園と共に其の名は天下に冠た
 り。



【一其】園樂後

元祿年間、藩主池田繼政の造營にかゝる。
 園は園の中心をなす澤池、唯心山を経て鳥城
 を望む。(水害前)
 岡山市古京町電停後樂園口下車一丁
 乗合自動車の便あり。



ンイラ山岡

後樂園の南堤を繞り、旭川に沿ふて相生橋
 を下る。此間清流を抱いて老樹茂り、古城は
 影を投じて幽韻動く、岡山ラインの名あるも
 亦宜なる哉。



伊木三猿齋の像

(岡山市國富少林寺所蔵)

|| 尙同寺境内に墓地あり ||

岡山驛より乗合自動車の便あり。

六高前下車東へ二丁(岡バス)(岡タケ)

天下の三茶人

伊木三猿齋の略傳

天下の三茶人として不味侯遠洲侯と共に令名高い伊木三猿齋は備前田瀬戸倉家に生れ幼にして茶事に親しみ長ずるに及び同藩伊木家に入籍したものである。當時彼の繼母は伊木家入籍を快しとせず三猿齋に向つて曰く「伊木家に入れば必ず短命に終るさいふ易であるがそれでも行くか」と質したるに三猿齋は敢然として之を斥け譬へ伊木家へ入籍後直ちに死する共三萬五千石の家老となる故本望であるを申して入籍したものである。爾來伊木家に在つて勤王の士として活動する傍ら茶道に親しみ晩年は三猿齋と號して専ら茶道に精進し遂に天下の三茶人としての名を成し六十七才を一期として遂に不歸の客となつた。

現在岡山市後樂園外苑續きの荒手茶寮に天下の粹人が集ふ所以も嘗て三猿齋が同寮を茶席として愛用してゐた關係上、種々な遺蹟に富んでゐる爲であるを稱せられてゐる。

茶寮の誇

(総面積四、五〇〇坪)

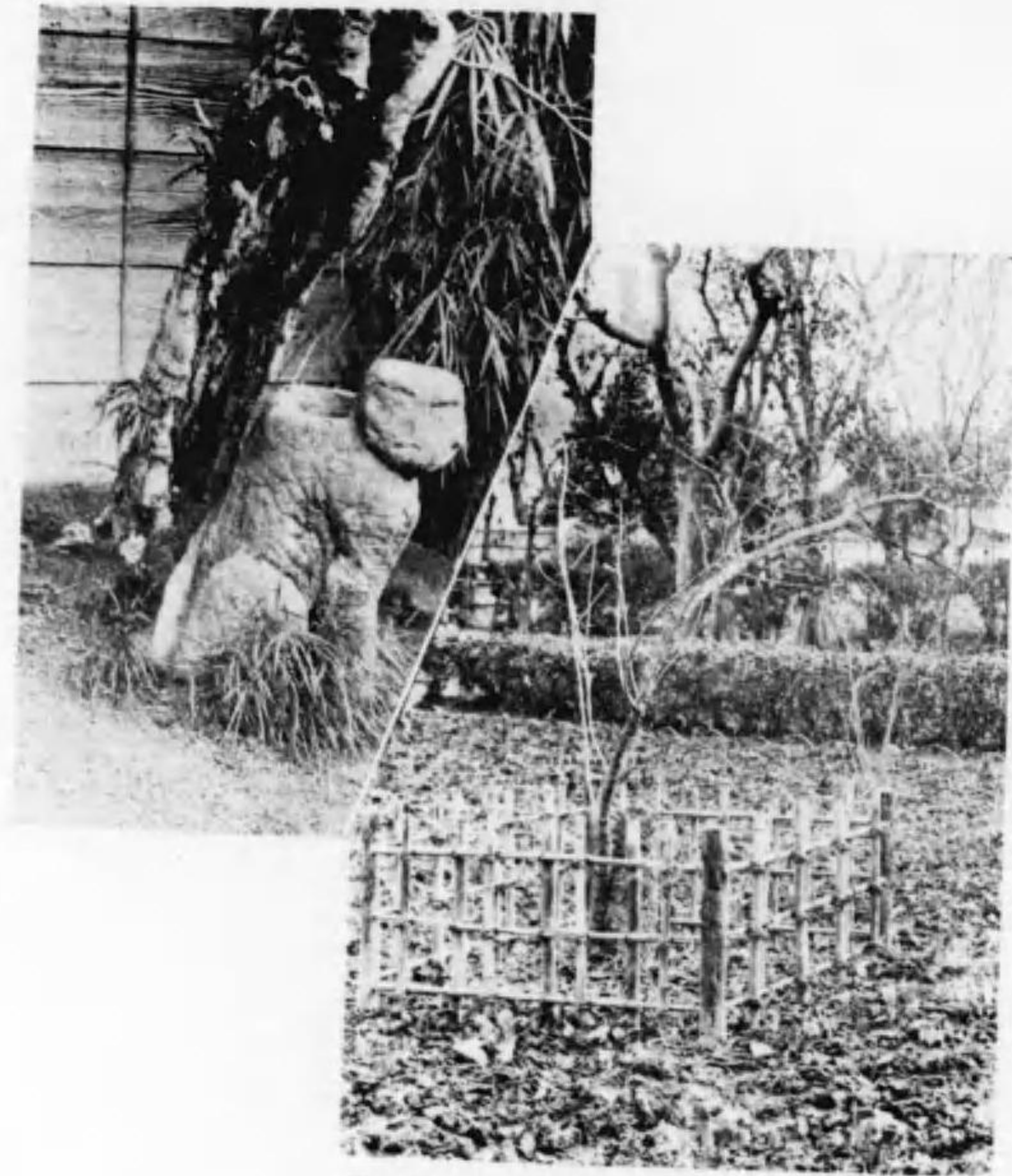
- 一、正門 大石芝藩の屋敷跡にありしものにて幼少の頃大石真郎が通用せしものなりと傳へらる
- 二、門内の老藤 江戸龜井戸根分けの藤
- 三、竹堂 松の間・菊の間・扇の間・鹿の間・等は字喜多公御本陣の舊蹟と傳へらる
- 四、道庵の茶室 大茶人道庵が設計せしものと傳へらる
- 五、利久室と利久木像 有名なる小豆爐あり傳に曰く秀吉公が御同伴にて利久が設計せしものなりと亦木像は利久の二代宗且の作
- 六、熊澤蕃山自筆の道しるべ 黄金丸槍洗の井戸
- 七、一名小豆洗の井戸
- 八、蝸牛の手洗鉢
- 九、あかすの間
- 十、隠し床
- 十一、武庫の虎
- 十二、大爐の間 朝鮮より二個渡來と傳ふ
- 十三、扇の間の 伊木三猿齋造築
- 十四、太柱の茶室
- 十五、雪見の爐 木染分の松、大石内蔵之助手植の櫻、ちさの木、八房の梅、ほだい樹、其他名木種々あり
- 十六、庭園の燈籠は十數基 中にも六地蔵と五行燈も有名なり
- 十七、此外にも庭内に種々名所遺蹟あり
- 十八、弓術道場



【一其】 荒手茶寮正門

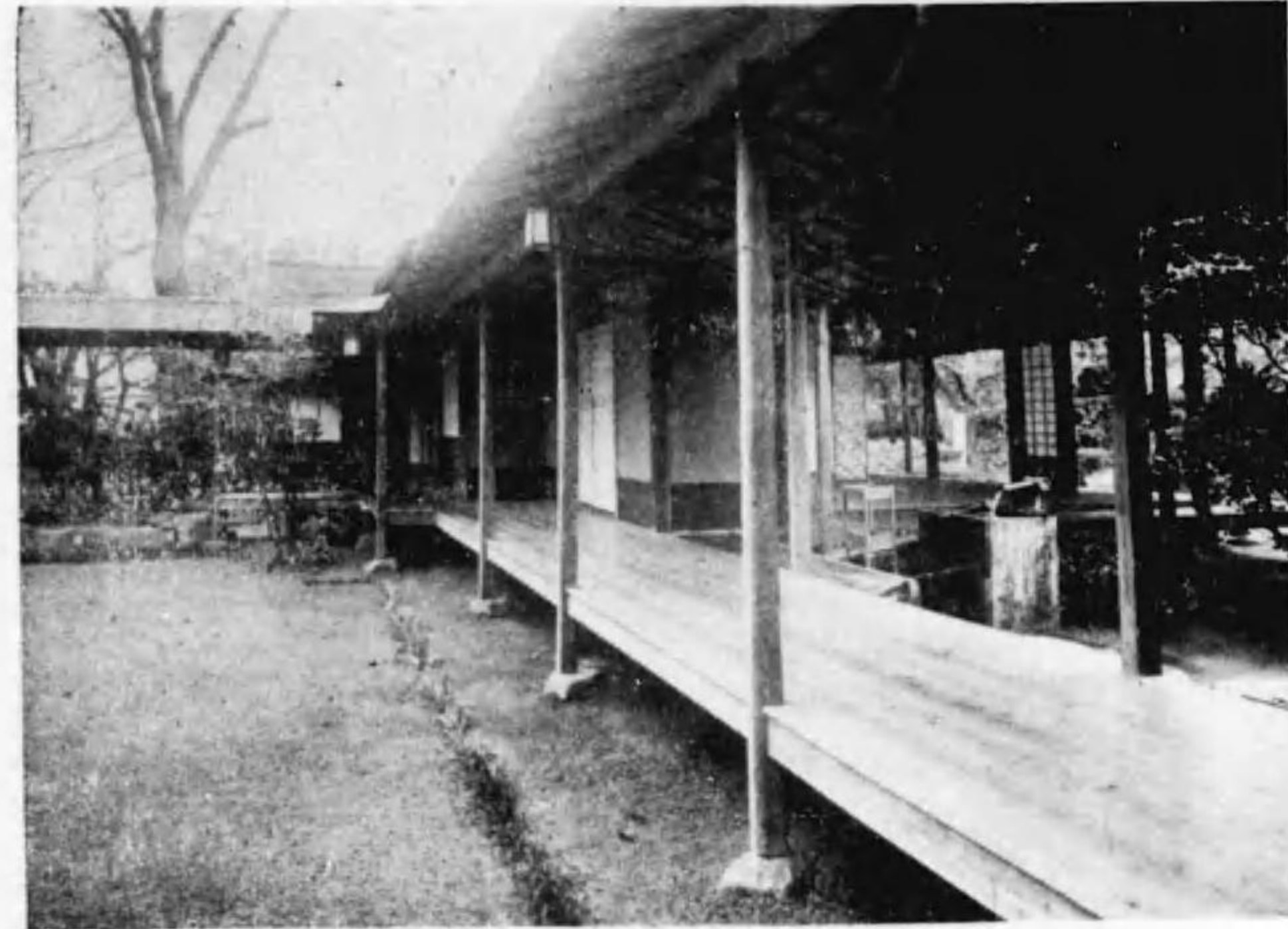
後樂園の外苑續きに在つて岡山ラインに面す
岡山驛より乗合自動車の便あり。
六高前下車西へ一丁

武庫の虎



大石内蔵之助手植の櫻

【四其】 寮茶手荒



む望を間の菊 【二其】 寮茶手荒

市の東方、東山の中腹にあり。
市民に親しみ深き行楽地として花の頃は股賑
を極む。
岡山市門田、電停東山終點下車、
乗合自動車の便あり。



園公山東

籠燈の藏地六



【三其】 寮茶手荒



熊澤蕃山自筆の道しるべ



園公島高

旭川の放流する兒島灣内の一孤島、全山老樹に覆はる。
 春の櫻に、夏の海水浴に市民歡呼の海上公園
 三幡乗合自動車にて二十五分渡船十五分
 或は京橋下より連絡船にて一時間



園公市奥

操山連峯の南に續く、一大山林公園を謂ふ。
 山麓のグラウンド及山嶺の眺望は殊に優る。
 岡山市門田電停、東山終點下車約三丁
 乗合自動車の便あり。



【部一の櫻】園公島高



園公野三

市の北郊、妙見山上に近時設備を施して公園となす。
 蜿蜒たる旭川を俯瞰し、古城址「龍の口」を遠望して眺望四時飽かず。
 岡山市三野
 「岡バス」で三野行終點下車半丁



乗合自動車並に電車の便
あり
(放送局通り下車南三丁)

岡山放送局の全景



五百羅漢

操山の中腹、少林寺境内にあり。
天明年間住僧照嶽和尚の起願により、京の名匠が手になりたる稀代の木像。境内の風致と俱に著名。(天下の茶人伊木三猿齋の木像及び墓地あり)
岡山市國富。第六高等學校裏
乗合自動車六高前にて下車約二丁



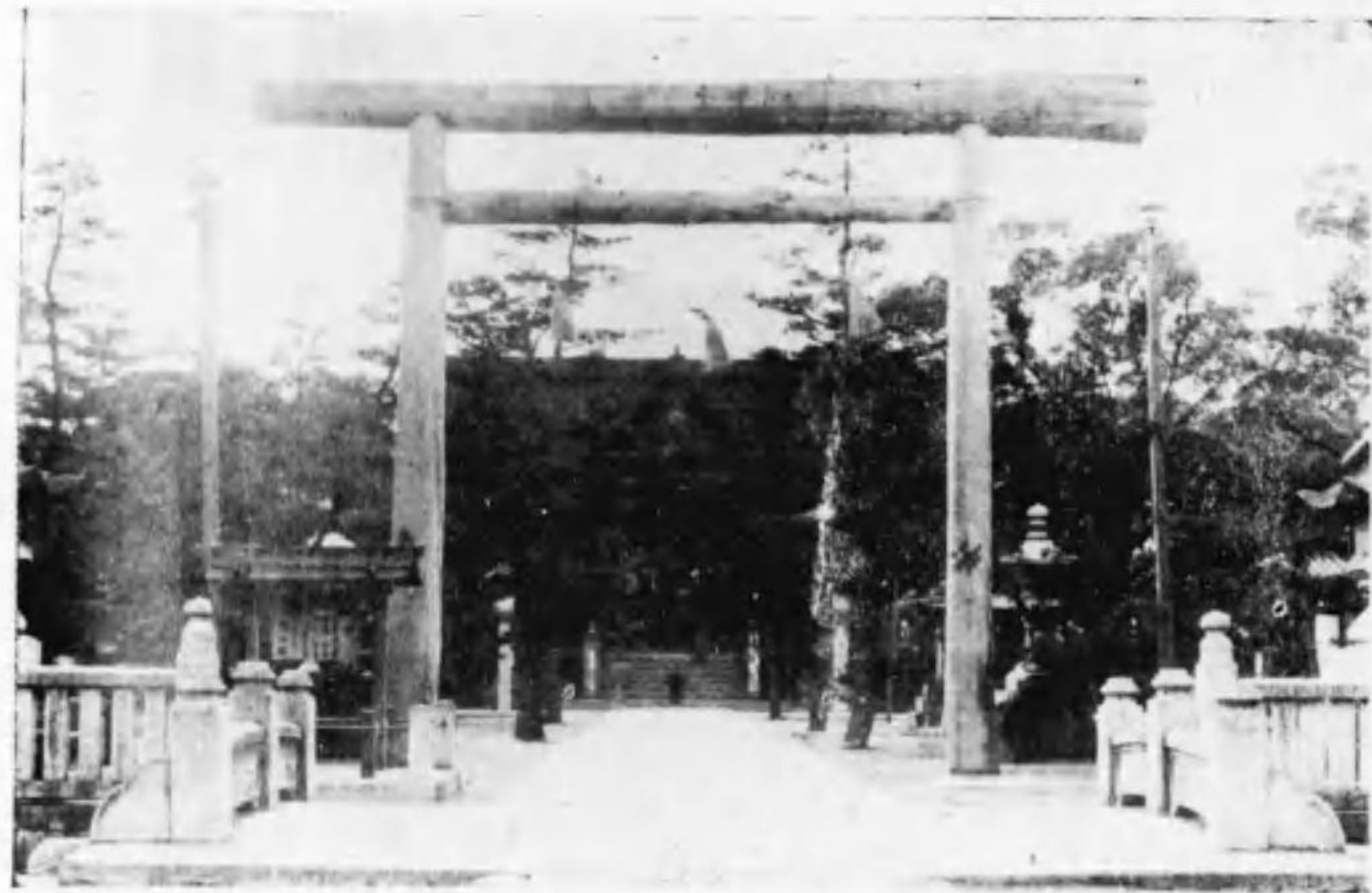
京橋

古來「京橋」は岡山の代名詞なりき。
橋上の風光亦繁榮と相俟つて代名詞たるの辭に反かす。



國清禪寺

藩主池田氏累代の香華寺にして寺内頗る廣く老松蒼鬱として清寂の禪境なり。
隣接せる清泰院には有名なる芋墓あり。
岡山市小橋町。電停放送局前下車半丁
乗合自動車の便あり。



宗 忠 神 社

全国百萬の信徒を有する黒住教本總のある聖地、参詣者日に絶ゆるなく、社殿の宏壯々麗なる地方稀に見るところなり。
岡山市外大元、宇野線大元驛下車西へ約三丁半
岡山市より乗合自動車「岡バス」の便あり貸金片道（拾 錢）



教祖の寫眞



(上)廳本同 (下)所會教大教住黒 るす有を徒信の萬百

岡山市より乗合自動車の便あり

(岡バスにて 拾 錢)



蓮 昌 寺

小早川秀秋のもと建立せしもの、名だたる法華大道場にして、英僧日船の開基たり、八間四面の大伽藍を擁す。(目下國寶に申請中)
岡山市東田町 電停蓮昌寺下車半丁



舊 岡 山 藩 藩 學

名君新太郎少將池田光政公専ら文教の作興に心を竭し、寛文六年此の地に藩校を設け藩の子弟を教養す(現岡山縣女子師範學校)
岡山市西中山下 電停西中山下下車北へ約半丁乗合自動車にても同じ



部一の館勵獎工商

岡山縣下特産品の陳列即賣場であると共に
特産物の販路擴張の重要機關である。
乗合自動車及電車の便あり。



關玄所議會工商山岡

下山内市山岡
りあ便の車電車動自合乗
。丁一約へ南東車下筋堂會公



岡山縣廳正門

乗合自動車、並に電車の便あり
縣廳坂下車スゲ



岡山驛

中國文化の中心地岡山市の咽喉部とも稱す
べき岡山驛の全景



驛前のバス群
岡
タ
ク
岡
バ
ス



岡山市公會堂

舊岡山藩主池田侯爵の寄附になる美麗豪壯
を以つて誇る中國一の公會堂である。
岡山市内山下
電停公會堂筋ト車東へ二丁突當り



日本銀行岡山支店の偉観

岡山市内山下
乗合自動車、電車の便あり
電停中銀前下車南へ一丁



岡山市役所

岡山市東中山下
乗合自動車、電車の便あり



農林省岡山出張所の全景

岡山市大供
岡山驛より乗合自動車の便あり
大供にて下車（岡バス、岡タク）



(中築増下日館新) 店貨百屋滿天

中國一の大デパートで一日數萬の顧客を吞吐してゐる。

岡山市下之町

電車、乗合自動車の便あり



院病字十赤

赤十字社岡山縣支部經營になる病院にして
 總工費四拾參萬五千圓を投じ昭和九年十二月
 竣工した。
 岡山市内山下
 電停中之町下車、南へ半丁乗合自
 動車の便あり



門正學大科醫山岡

岡山市大學町

岡山驛より乗合自動車にて大學前下車



寺禪源曹

藩主池田氏累代の菩提所にして中國隨一の
 禪門道場なり。
 庭園の意匠は其妙を極めて名園とし名高し。

市外富山村圓山
 乗合自動車の便あり



吉備津彦神社

國幣小社にして祭神は大吉備津彦命にまします。
 往昔より備前一ノ宮と稱され、代々藩侯の尊
 崇厚し。
 御津郡一宮村、
 中國鐵道一宮驛下車約二丁
 岡山市より乗合自動車の便あり
 約二十五分



中國鐵道株式會社

スマートな二輛連結車で颯爽として全線を
 馳驅する高速レールカー！



藤本鐵石之碑



藤本鐵石畫

勤王烈士 藤本鐵石先生略傳
 贈從四位

藤本鐵石先生名は眞金、鐵石は其號なり。
 岡山市東川原、片山佐吉氏次男にして、文化十三年十七日を以て生る十
 五才の時上道郡倉益の人藤本重賢氏の養子となる先生至誠剛直にして古
 典に通じ神道を崇び天心獨明流劍法の奥義を極む又詩文和歌に巧みにし
 て繪畫に妙を得天下を遍歴す。
 文久三年八月十八日中山侍從忠光卿を奉じて勤王倒幕の義兵を大和國
 十津川に擧ぐ所謂天誅組之なり同志七十餘人鐵石先生實に松本謙三郎吉
 村寅太郎と共に之が総裁たり河内國觀心寺なる楠公墓前に於て菊の御紋
 の旗を懸し皇軍御先鋒の宣言をなし先づ大和國五條代官鈴木源内以下を
 誅し進んで各地に奮戦せしが衆寡敵せず中山卿をば濬かに落し參らせ
 後鐵石先生自らは獅々奮迅の勢を以つて敵の本陣鷲家日裏屋に突入り力
 闘して憤死せらる

辭世に曰く

君がため身まかりにきこ世の人に
 かたりつきてよ峰の松風

時に九月二十五日先生年四十有八



家生の翁堂木養犬

國會開設以來の代議士として憲政の神と仰がれた木堂翁が孤々の聲を上げた生家
山陽線庭瀬驛下車西北へ約十丁



像銅全

吉備津境内に儼然と立立する銅像
中鉄吉備津驛下車約一丁
乗合自動車の便ありと



社神津備吉

官幣中社なり、四道將軍吉備津彦命を奉祀す。社殿は鎌倉時代の古風による比翼権現造りにて隨神門と共に特別保護建造物なり。
吉備郡真金町
中國鐵道吉備津驛下車約一丁半
岡山市より乗合自動車の便あり
約三十分



丹社の社神津備吉

華麗な姿態でシーズンには一日數千の觀賞者あり。
吉備郡真金町
中國鐵道吉備津驛下車約一丁



高松城址

世に著名なる高松城水攻の跡なり。
 戦國武士の典型たる清水宗治の遺物は今も尚
 松嶺の中に偲げれん。
 吉備郡高松町
 中國鉄道稻荷驛下車約數丁北



宗治公首瓶

岡山縣吉備郡高松町大字立田小字辻、地藏
 谷舊持寶院跡境内清水宗治公首塚を明治四十
 三年二月十五日發掘、高松城本丸跡に移轉し
 たる當時の首瓶寫眞にして中に頭蓋骨、懐劍
 の刃尖三ツに折れたるもの、土杯、上に摺鉢
 を覆ひたる直徑一尺六寸、深一尺三寸七分の
 大瓶なり。今は上部破損して只此寫眞により
 原形を窺つ事を得るのみ。
 考古學者水原岩太郎氏の説に依れば此種の瓶
 は足利の末期まで淺口郡富田村大字八島小字
 龜山に於て燒きたる窯跡ありと

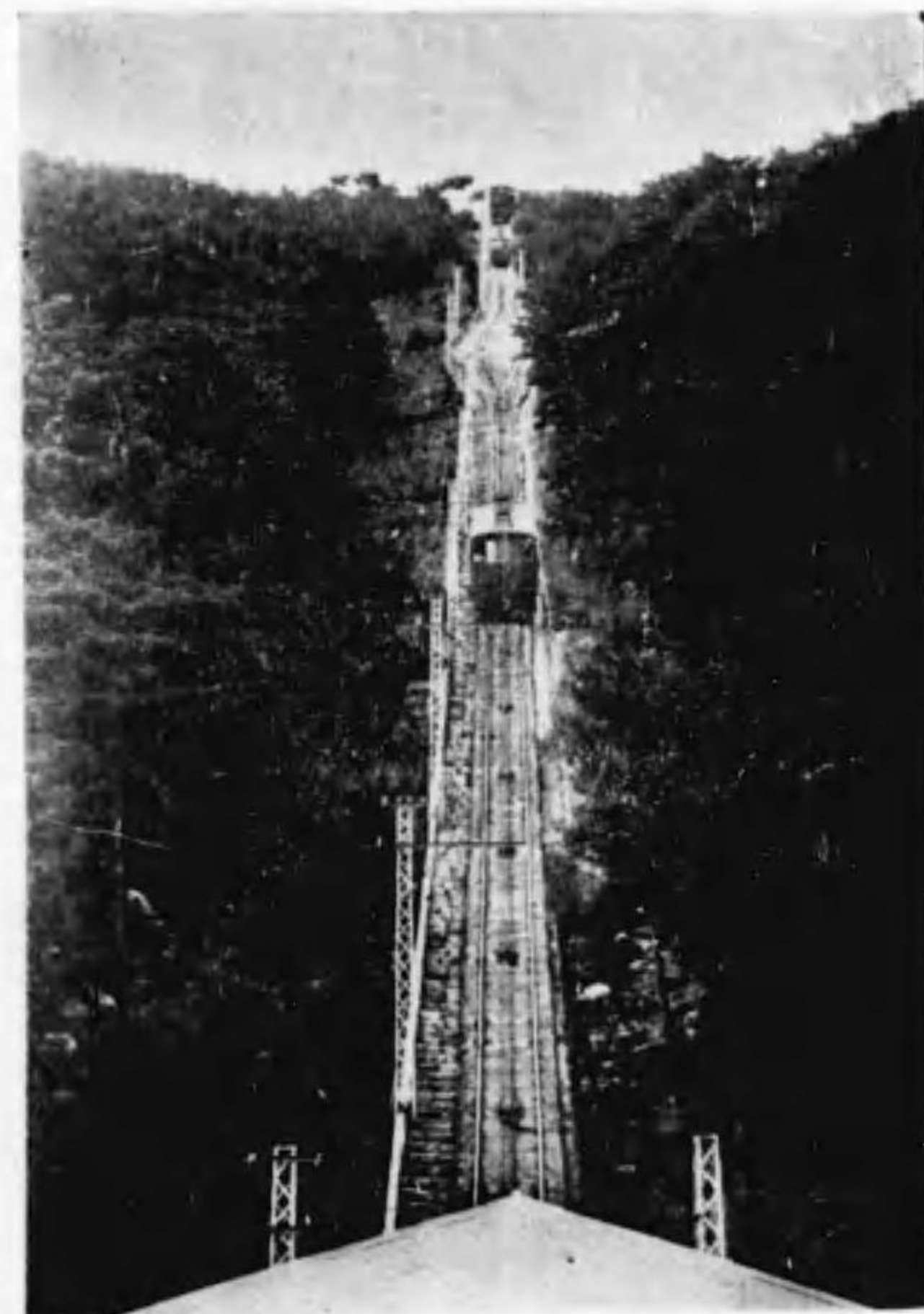
昭和十年三月六日

高田馬治識



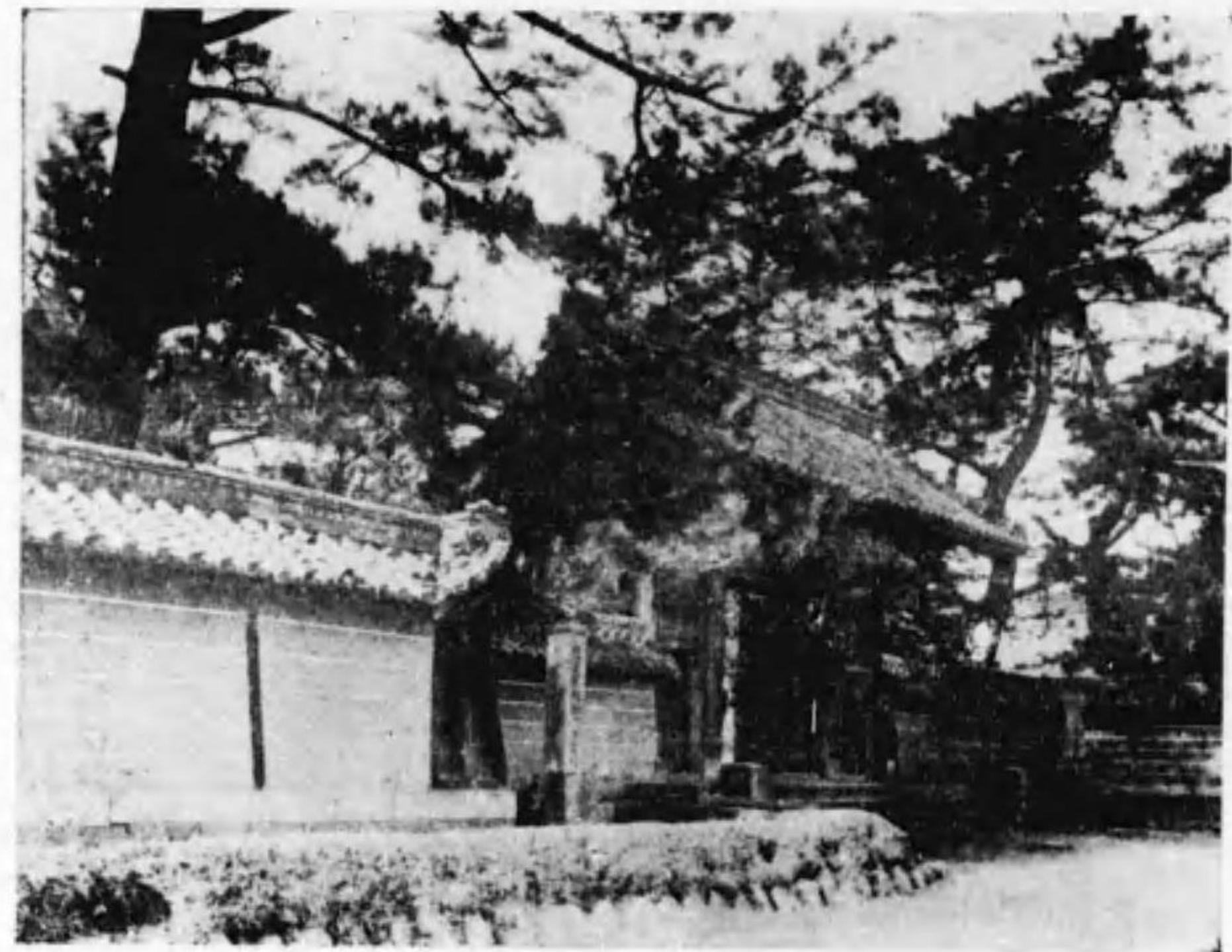
高松最上稻荷

伏見、豊田稻荷と並び稱せらる。
 御題目の聲、太鼓の響、濛々たる香煙、旺ん
 なること關西隨一の靈場なり。
 吉備郡高松町
 中國鉄道稻荷山驛下車
 岡山稻荷山間の乗合自動車の便あり



稻荷山奥のケアーカール

中國唯一のケーブル・カーとして一日數千
 の客を奥の院へ送つてゐる。
 備中高松町稻荷山



誕生寺

法然上人誕生の靈地。
 入道熊谷直實、上人自刻の像を此地に運び佛
 閣を造營す。淨土宗門著名の靈場なり。
 久米郡稻岡南村
 中國鐵道誕生寺驛下車約數丁



宇甘川

宇甘川の清流に跨る。
 四圍の翠巒と奇岩怪石の交錯するところ幾多
 の奇勝を生む。紅葉絶佳
 御津郡宇甘四村
 中國鐵道金川驛下車、
 定期自動車の便あり。



衆樂園

國主森長繼の造營に係る。
 京の名匠の手になりて、規模後樂園に亞ぐ。
 津山市



妙覺寺

日蓮宗不受不施派の本山なり。
 その悲壯なる殉教録は日本宗教史の異彩たり
 明治九年派名復興の許可を得。
 御津郡金川町
 中國鐵道金川驛下車數町



社 神 樂 作

津山市
櫻樹に十字詩を題して忠誠を表したる故事は史上に高し。
後醍醐帝を祭神とし、兒島高德公を配祀す。



城 山 鶴

四顧の眺望と春花秋葉の景に富む。
森氏、松平氏の居城たり、卓犖たる老松は昔ながらの面影を存す。
津山市
津山驛より徒歩にて二十分

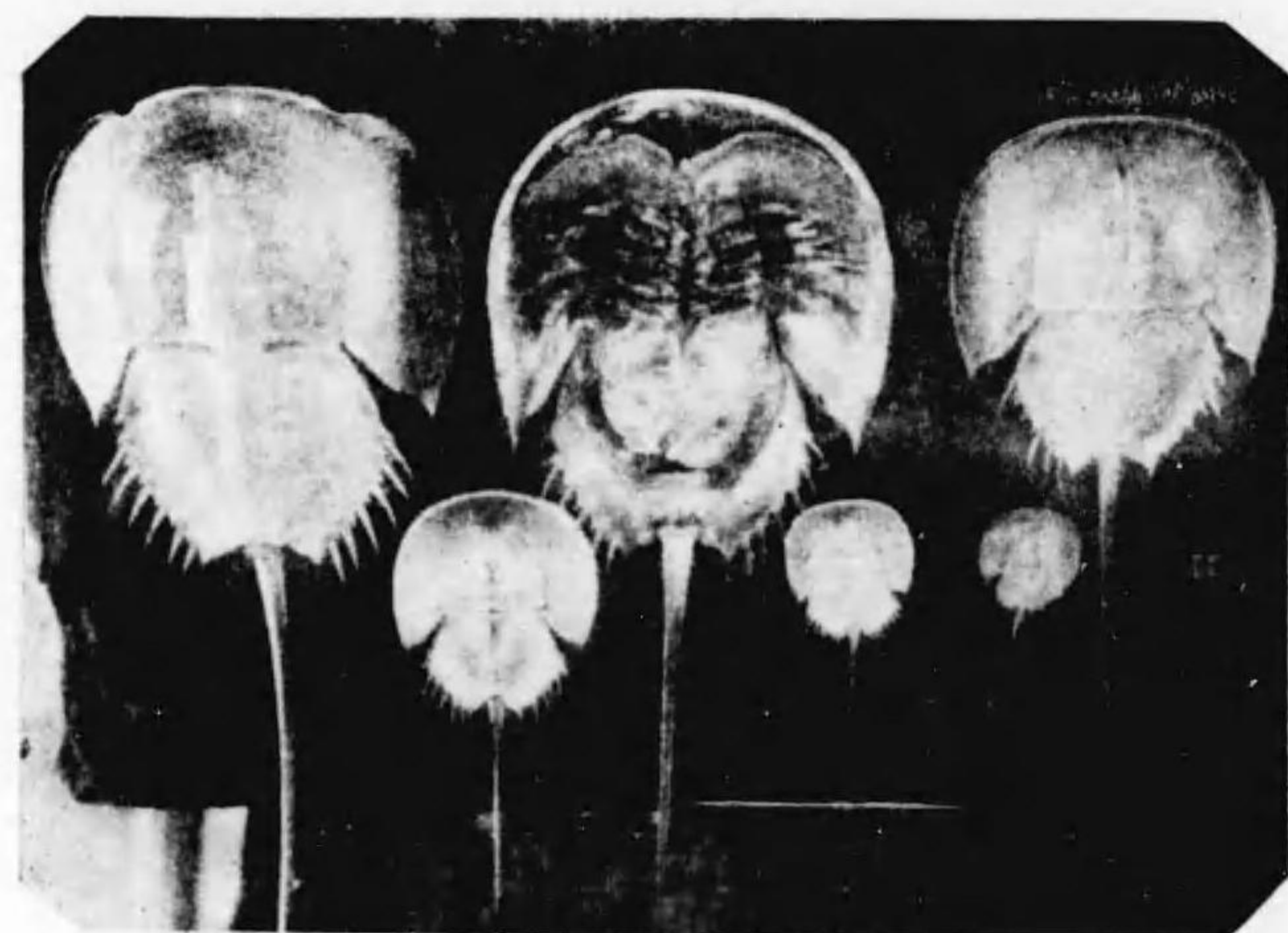


峠 坂 杉

兒島高德が後醍醐帝の聖駕をお迎へ申上げた史蹟で有名。



櫻の口入園公山鶴



蟹とぶか【三其】物念記然天



鹿河【四其】物念記然天

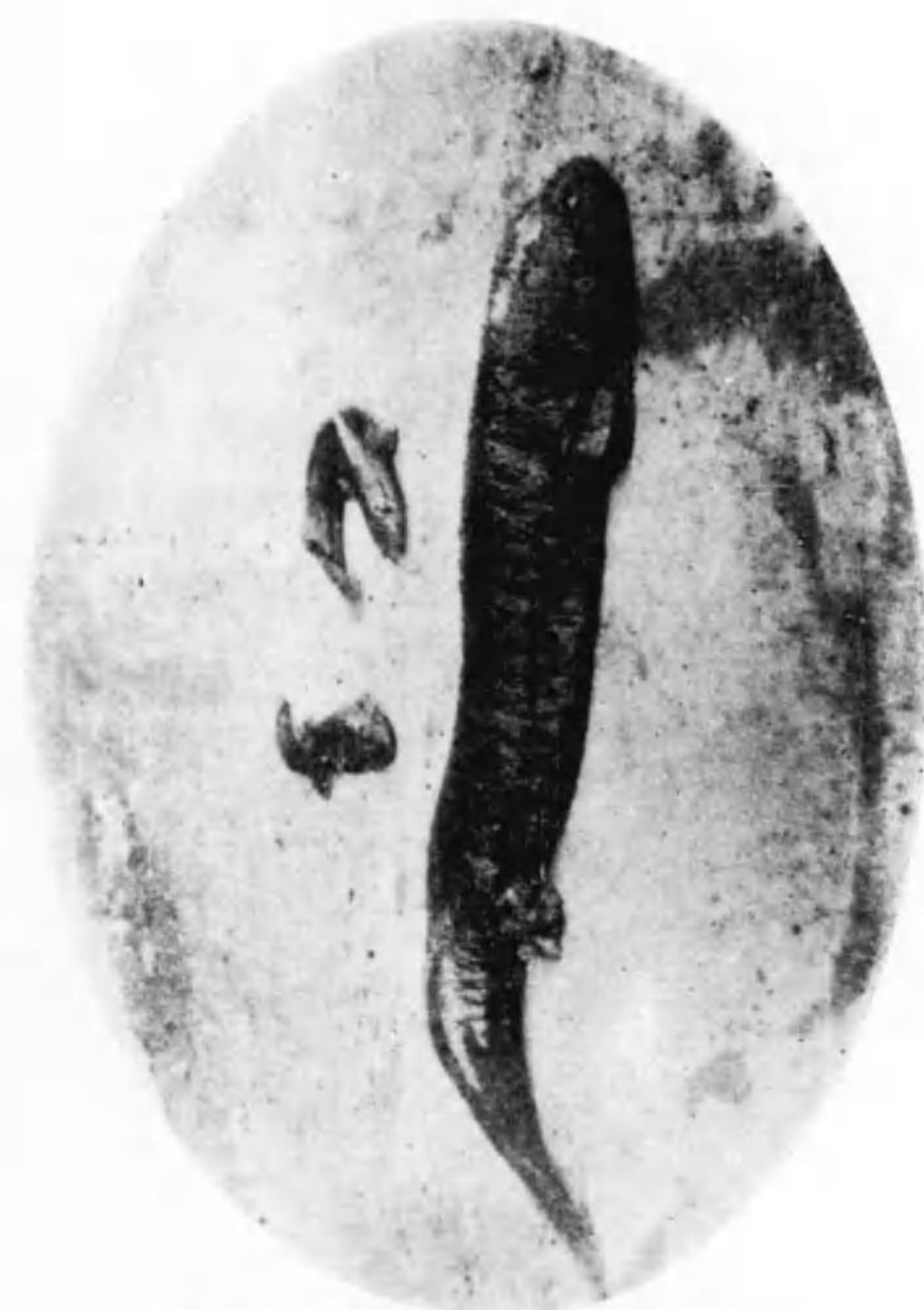


見島高徳が後醍醐帝の聖駕をお迎へ申上げた史蹟で有名。

船坂峠



天然記念物【其二】虎班竹



魚淑山【一其】物念記然天



和氣神社

古今の忠臣和氣清麿公生誕の地にして同公を奉祀す。
附近の名山水野嵐山の風光を凌ぎて芳嵐園の名あり。
和氣郡和氣町
山陽線和氣驛下車

湯郷温泉

「鷲の湯」とも云ひ湯の起源は遠く太古なりと傳へらる。
呼吸器病、婦人病、皮膚病等に卓効あり。
勝田郡湯郷村
片上鉄道飯岡驛下車
乗合自動車の便あり。



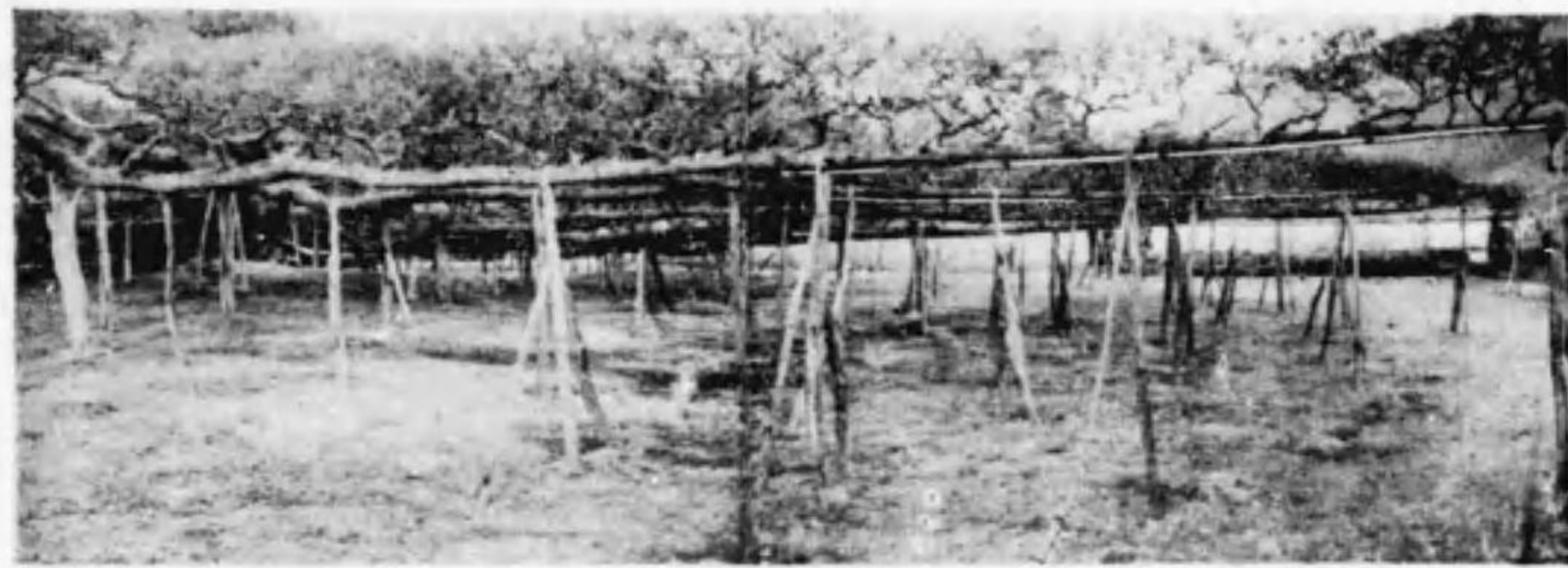
奥津温泉

流水潺々。山氣彌爽やかなる仙境。
附近に鍵の湯、大釣、川面の諸名泉を有しこの邊り塵外の樂土。
苦田郡奥津村
津山市より乗合自動車の便あり。

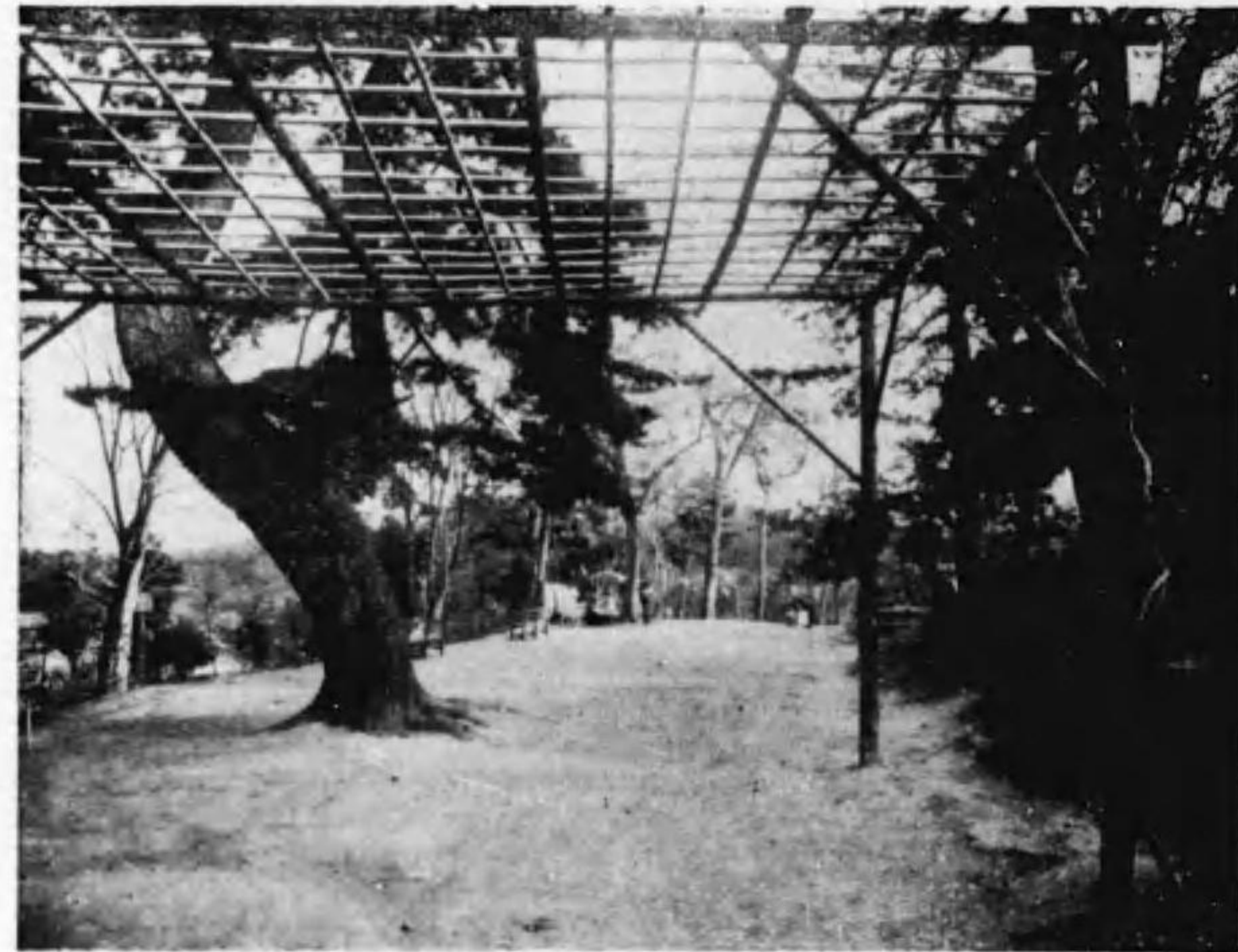


臥龍松【其一】

一大老松蟠居して枝葉を張る、形状恰も臥龍に似るを以て此名あり、全國著名の名松たり。
和氣郡香登町
岡山市内山下より宇野乗合自動車の便あり。



全【其二】



鶴形山公園

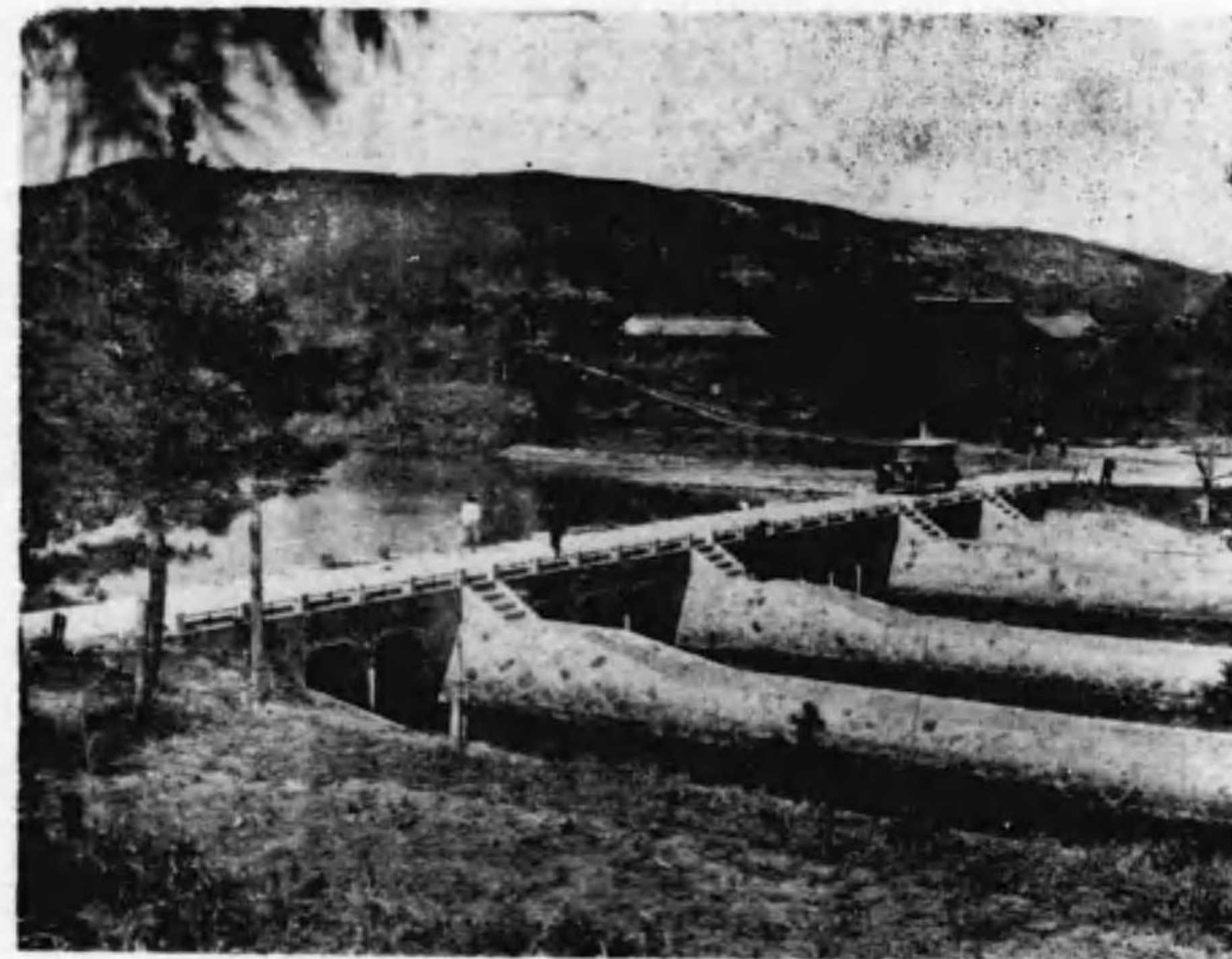
讃岐の連山をも指呼する眺望廣潤の公園。
 労働科學研究所、倉敷天文臺、大原農業研究
 所等の施設また俱に觀るべし。
 倉敷市
 倉敷驛より徒歩にて十五分



大原美術館

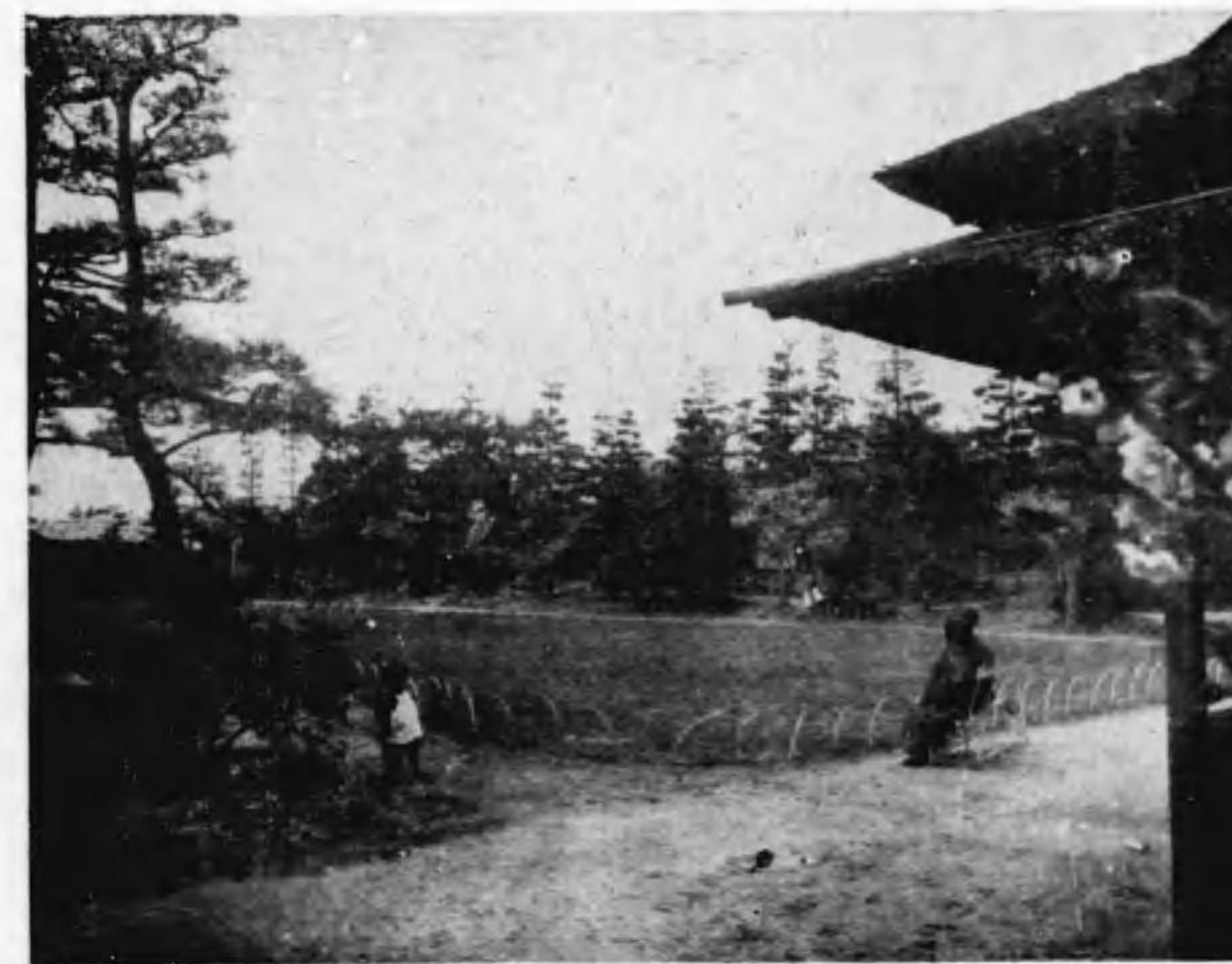
大原孫三郎氏が嘗て洋畫家の泰斗兒島虎次
 郎畫伯を歐米に派遣新道の研究を成さしめた
 關係と同畫没伯後偉業を記念すべく建設され
 たもので泰西の名畫を一堂に集め内容に於て
 は東洋一の稱あり。

倉敷市
 山陽線倉敷驛下車徒歩二十分



酒津水門

高梁川東西用水の大水門なり。
 山水明媚、四季を通じて拄杖に適す近代的遊
 園地なり。
 都窪郡中洲村
 乗合自動車の便あり



新溪園

園池木石雅趣に富み、音に遊息に適するの
 みならず、亭榭は常に市民に利用さる。
 隣接「大原美術館」は泰西の名畫を藏して天
 下に名あり。

倉敷市
 倉敷驛より徒歩にて二十分



岡山縣淺口郡玉島町圓通寺公園に在り
陽線玉島驛より乗合自動車の便あり

良寛和尚の碑文

自來圓通寺不知幾春冬門前千家邑更不知一。
人衣垢手自洗食盡出城聞會讀高傳僧可々濟貧

沙門良寛書

像肖及碑の師禪寛良



部本教光金

全國二百萬の信徒を有する新派神道の靈地
先年稀有の壯嚴なる殿堂を烏有に歸したりし
も再建せり

淺口郡金光町
山陽線金光驛下車南へ數町



音觀江帶

安産の靈驗著しき名利。
年中賽客絶えず、春は花、秋は紅葉の眺めあり。
倉敷市外中帯江
「國營バス」の便あり



園公寺通圓

大愚良寛禪師の少時修業せし名利あり、眺望
八州に及び、風光明媚。
淺口郡玉島町
山陽線玉島驛より玉島町迄で乗合自動車
の便あり。



勤王の士 秋錦赤松翁の碑文参照
岡山縣淺口郡玉島町
圓通寺境内に在リ

房山錦秋及像肖之翁朴三松赤



場浴水海美砂

一名備中須磨の稱ある縣下四大浴場の一
淺口郡黒崎
山陽線玉島下車乗合自動車の便あり



(照參文碑) 碑の翁朴三松赤

岡山縣淺口郡玉島町圓通寺公園に在リ
山陽線玉島驛下車乗合自動車の便あり

秋錦赤松翁碑

正二位勳一等伯爵

土方久光篆額

翁諱三朴、字巨山、號秋錦又淡水、備中玉島人、其先出赤松則村、父稱要藏、翁其第三子、母柚木氏、家世業農、翁獨志學、從廣瀨淡窓爲都講、後修醫學於長崎有年、學成歸鄉開業、起死回生之効、今尚膾炙人口、嘉安以後、内外多事、翁與志士往來、鼓吹尊攘之說、水府武田耕雲齊之死也、同志流離艱苦、千波尙彦兒島德藏等往作州、訪勤王之士立石正介、謀後事、正介托二士於翁、寄食多年、翁亦避幕府嫌疑、潛於備後尾道者踰年與翁舖林字一、長州吉田松藏、阿波海部勘六、讚岐日柳長次郎等志士、相交不絕、翁皆秘而不語、如往復書類皆火之、明治之初、倉舖縣廳召賞其多年勤王之勞、後奉職彈正臺、會津山藩有內訌、翁密偵頗有功、晚年業餘詩酒風流、優遊自適、而其門修漢籍者前後至三百餘人、明治二十五年四月四日歿、距文化十三年八月十五日之生、享年七十七、葬玉島先塋之次。

翁性恬澹寡慾、而磊落豪放、不事貨殖、赤貧如洗、而其教志士、唯恐不及、松藏嘗窮旅費、典佩刀於翁以借金、翁曰諾、但佩刀武士之寶、不可須臾離身、竊典妻子衣履旅費以與之云、翁先配齋藤氏、生二女、適菊地氏、後配上阪氏、生一女、適黒住氏、後大歸、其男潤吉嗣翁見爲竹馬商社管店、頃者門人故舊惜翁勤王事蹟不表見於世、胥謀建豐碑於玉島圓通寺、不朽之、囑余銘、々曰、

遠祖勤王、惜哉無終、翁也一貫、耿々精忠、不獨醫疾、醫國有功

大正六年九月

宮中顧問官從三位勳一等文學博士三島毅撰



藤 戸 の 渡

謡曲「藤戸」に於て入口に哨尖さるゝ源平
古戦場なり。
滄桑の變はあれど遊子をして低徊去らしめず
兒島郡藤戸町
下津井鐵道天城驛下車數町



芳 井 天 神 溪

古木蒼鬱、溪水涼々。
楓樹の名所にして塵外靜寂の別天地なり。
後月郡芳井町
井笠鐵道井笠驛より乗合自動車の便あり



下 津 井 海 岸

國立公園瀬戸内海の美觀を立體的に集約す
るところ、眞に鷲羽山頂の眺望に如くものな
し。
兒島郡下津井町
下津井鐵道鷲羽山驛下車
山上まで徒歩で二十分



藤 戸 寺

往時七堂伽藍と稱して佐々木盛綱が建立せ
し寺にして古戦場としての繪巻物寶物が幾多
藏せられて居る及盛綱の木像等
岡山縣兒島郡藤戸町
下津井鐵道天城驛下車五丁南



由加神社

古來備前由加山の名は天下に汎し。
 讃岐國金比羅と並稱さるゝ名刹たり「賴仁親
 王御陵」及「五流驗道場」は山麓「林の庄」
 にあり。

兒島郡琴浦町
 宇野線彦崎驛下車
 乗合自動車の便あり



全象岩

瀬戸内海の絶景を一望に聚める鷺羽山と共
 に名高く盛夏には數萬の浴客で賑ふ大海水浴
 場として名あり。

兒島郡下津井町
 下津井鉄道終点下車
 乗合自動車の便あり



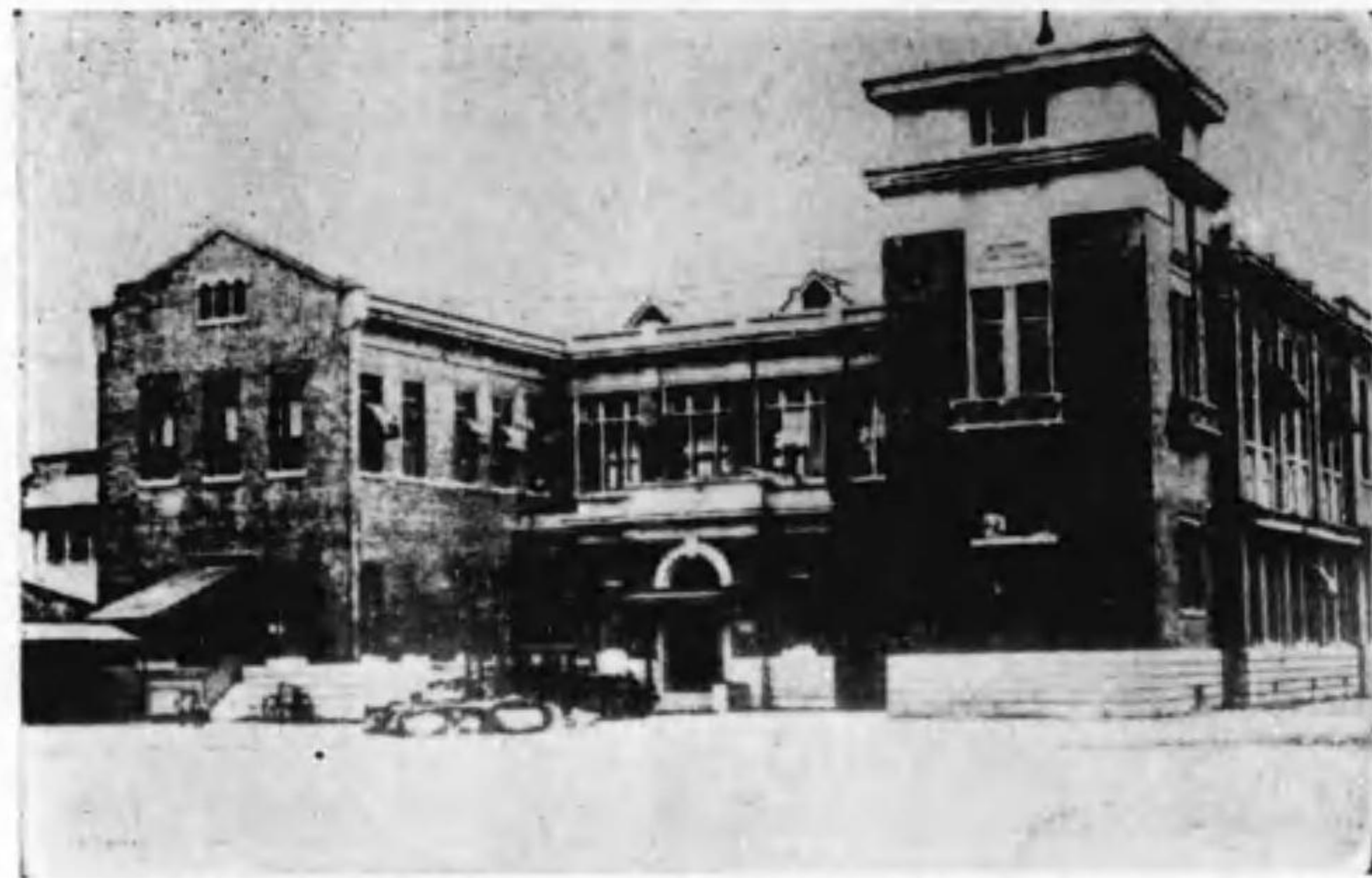
下津井海水浴場



常山城址

常山は兒島富士とも云ひ、山容秀麗。山上
 に城址あり、落城の悲話は遊客の心を打つ。
 國立公園瀬戸内海は脚下に展開す。

兒島郡灘崎村
 宇野線山加驛下車
 登山自動車の便あり



三井造船工務事務所全景

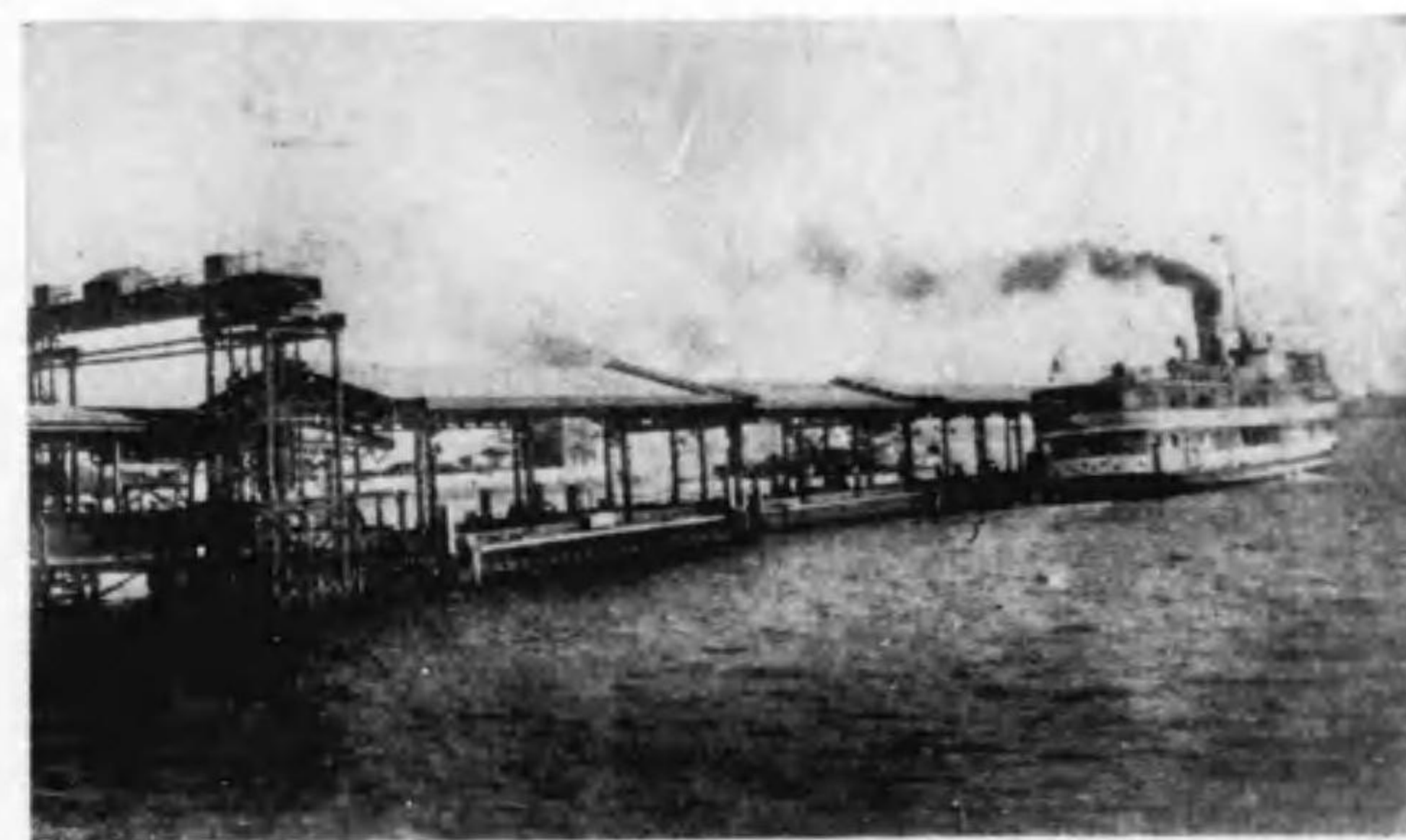
インフレン景氣の波に乗って目覚ましい躍進
を續けつゝあり。
兒島郡 日比町 玉
宇野線宇野駅下車
乗合自動車便あり



全工場全景



全山頂



宇野港棧橋

備置を結ぶ新興貿易港として有名な宇野港
棧橋
兒島郡宇野町



社神仁安

國幣中社なり。
 往古兄神社と稱し、神武天皇皇兄五瀨命の尊
 靈を奉祀して由緒高し。
 邑 久郡 大宮村
 西大寺町より乗合自動車
 の便あり。約十五分



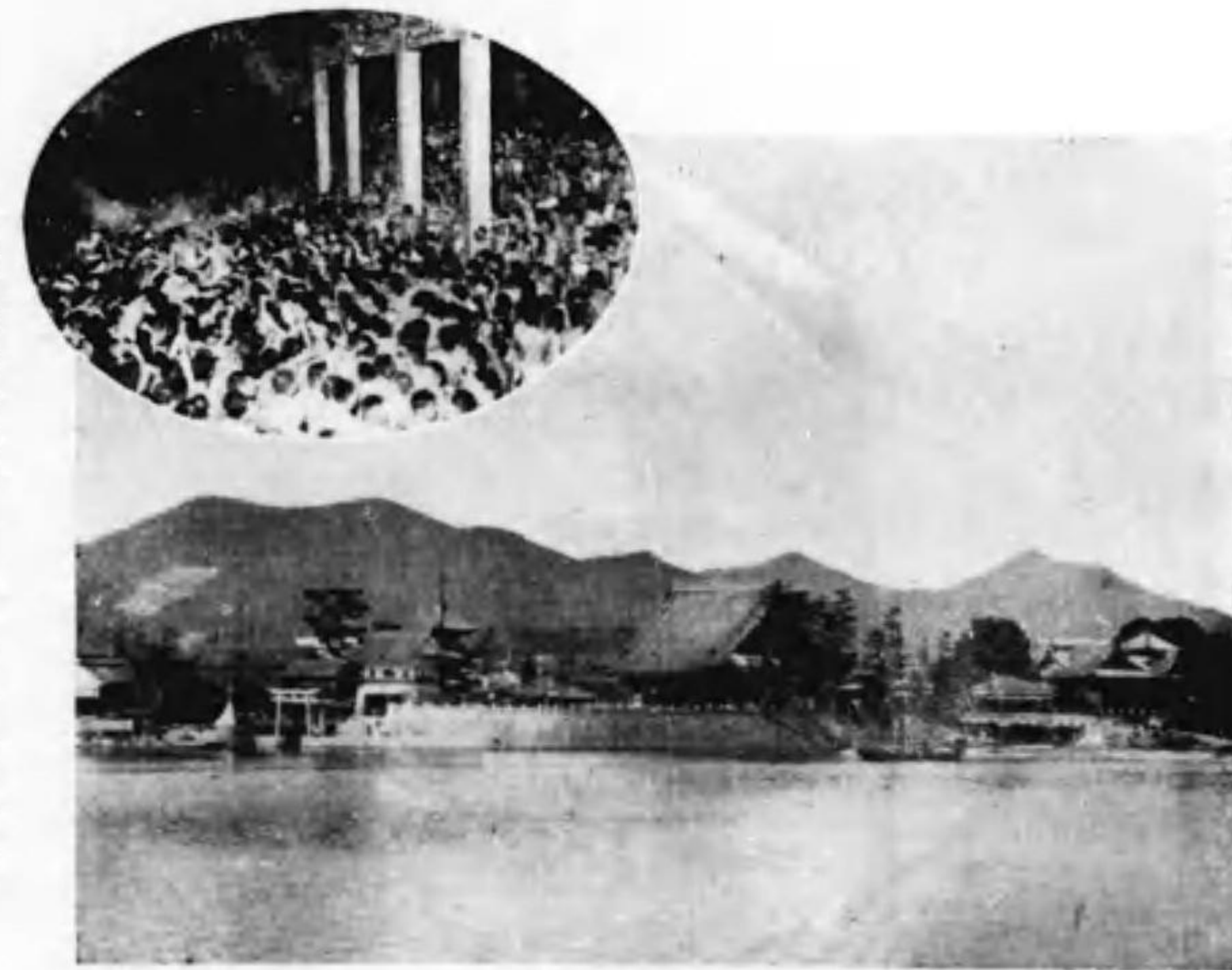
場浴水海川壱

白砂青松遙かに大槓、小槓、の島々を望む
 眺望絶佳の海水浴場
 見島郡日比町宇津川
 宇野線宇野驛下車
 乗合自動車の便あり
 宇野港より海上連絡
 あり



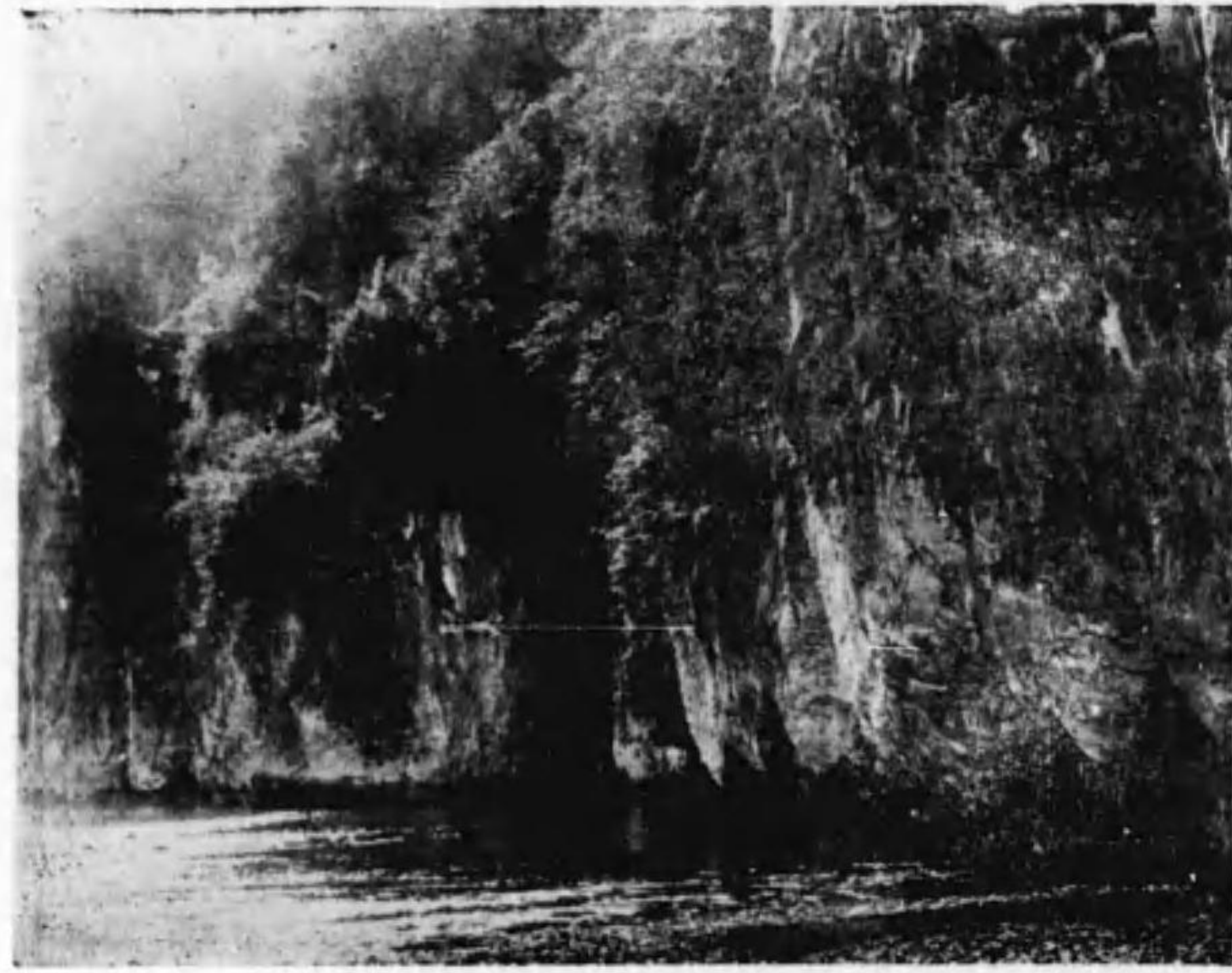
場浴水海窓牛

岡山縣の東端に於る唯一の理想的海水浴場
 にして海水浴の季節には數千の浴客で賑ふ。
 邑 久郡 牛窓町
 西大寺鉄道終点下車
 乗合自動車の便あり
 岡山市京橋より定期船あり



寺大西山陵金

千手観世音を本尊とし、はだか祭「會陽」
 を以つて著はる。
 毎年陰曆正月十四日夜肉團相撃つ壯觀は旋風
 の如く怒濤の如く真に天下の偉觀たり。
 上 道郡 西大寺町
 西大寺鉄道終点下車約一數町
 岡山市城下より乗合自動車の
 便あり。



阿 哲 峽

巖窟怪奇、清冽の白濁峽谷に泡立つ。壯觀
耶馬溪を歴して、特に秋の紅葉は賞づるに辭
なし。
阿 哲 郡 新 見 町
伯備線方谷驛より網代に
至る一帯。



豪 溪

風化浸蝕せられたる花崗岩の垂直、水平節
理能く發達し、峻峯怪峯相肩摩して眞に天下
の奇觀なり。
吉 備 郡 池 田 村
伯備線粟野下車、乗合自
動車の便あり約三十分



神 庭 の 瀧

日本百景の一に當選せる中國第一の名瀑。
落下五百尺、峽谷爲に震ふ。
秋の紅葉は云ふも更なり。
真 庭 郡 勝 山 町
作備線勝山驛下車約二里
乗合自動車の便あり



松 山 城

城廓區域の廣大なるこ、中世式近世式兩型
の遺存せるこによりて築城學上好箇の參考資
料たり。
上 房 郡 高 梁 町
伯備線高梁驛下車約十町

湯原温泉郷に屬する名泉の一なり。
附近に足、郷縁などの温泉ありて透徹の神泉
は諸病に効す。

眞庭郡湯原村
作備玉勝山驛下車。乗合
自動車の便あり。



眞賀温泉



湯原温泉

山峽に湧き出づる自然風呂の野趣は眞に持
すべく、山椒魚と俱に天下の名物として識ら
る。

眞庭郡湯原村
作備線勝山驛下車約五里
乗合自動車の便あり。

● 十目の見る所——十指の指さす所 ●

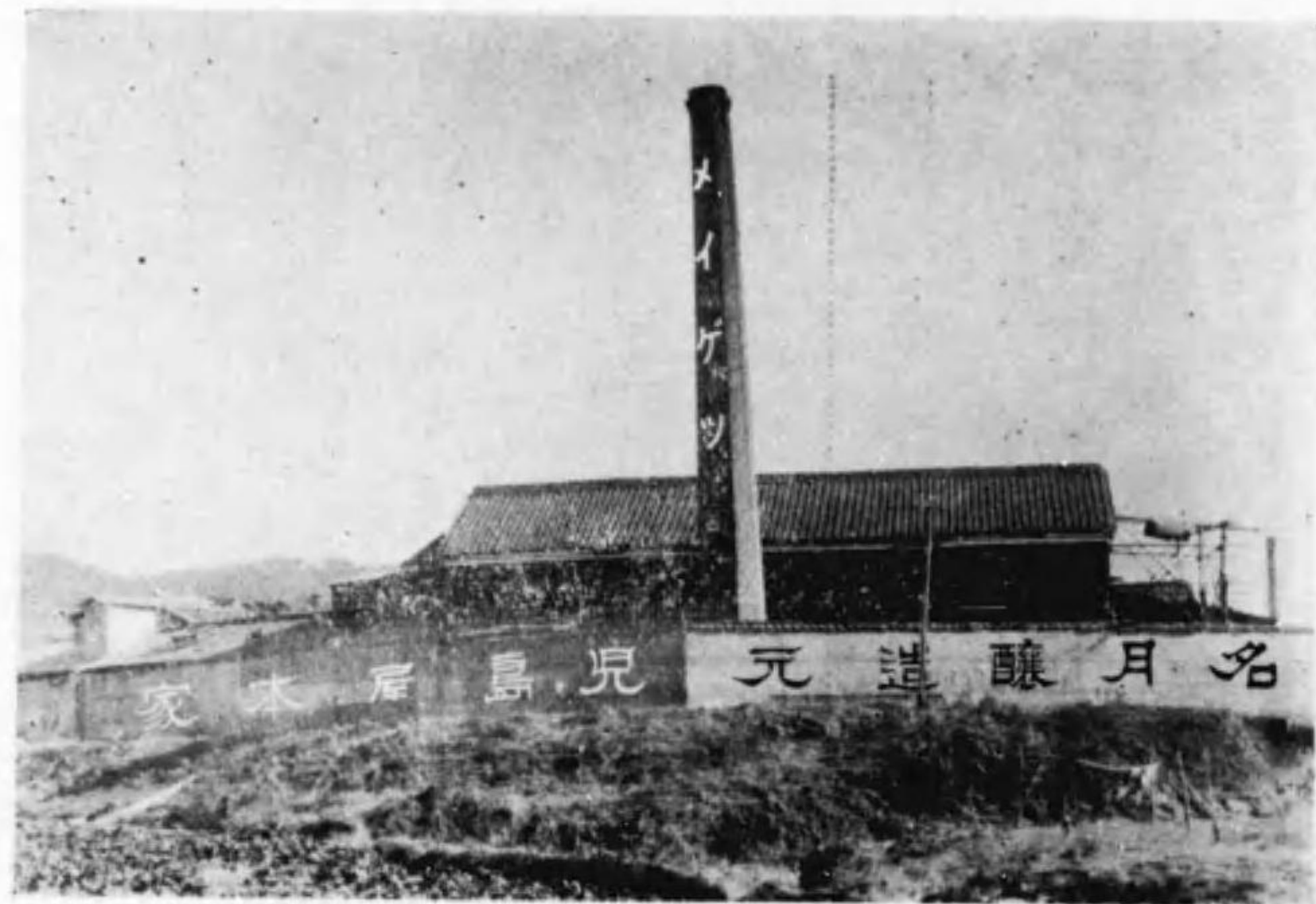
● 必らず御満足が得られます ●

岡山市著名商店案内

▼ 一寸の虫にも五分の魂が有る如く!!

▼ 岡山宣傳社小なりと雖も魂が有る!!

▼ **見よ!!** **全生命** と **信用** を堵しての著名商店案内を!!



部一の庫倉元造釀月名

兒島屋釀造元本家

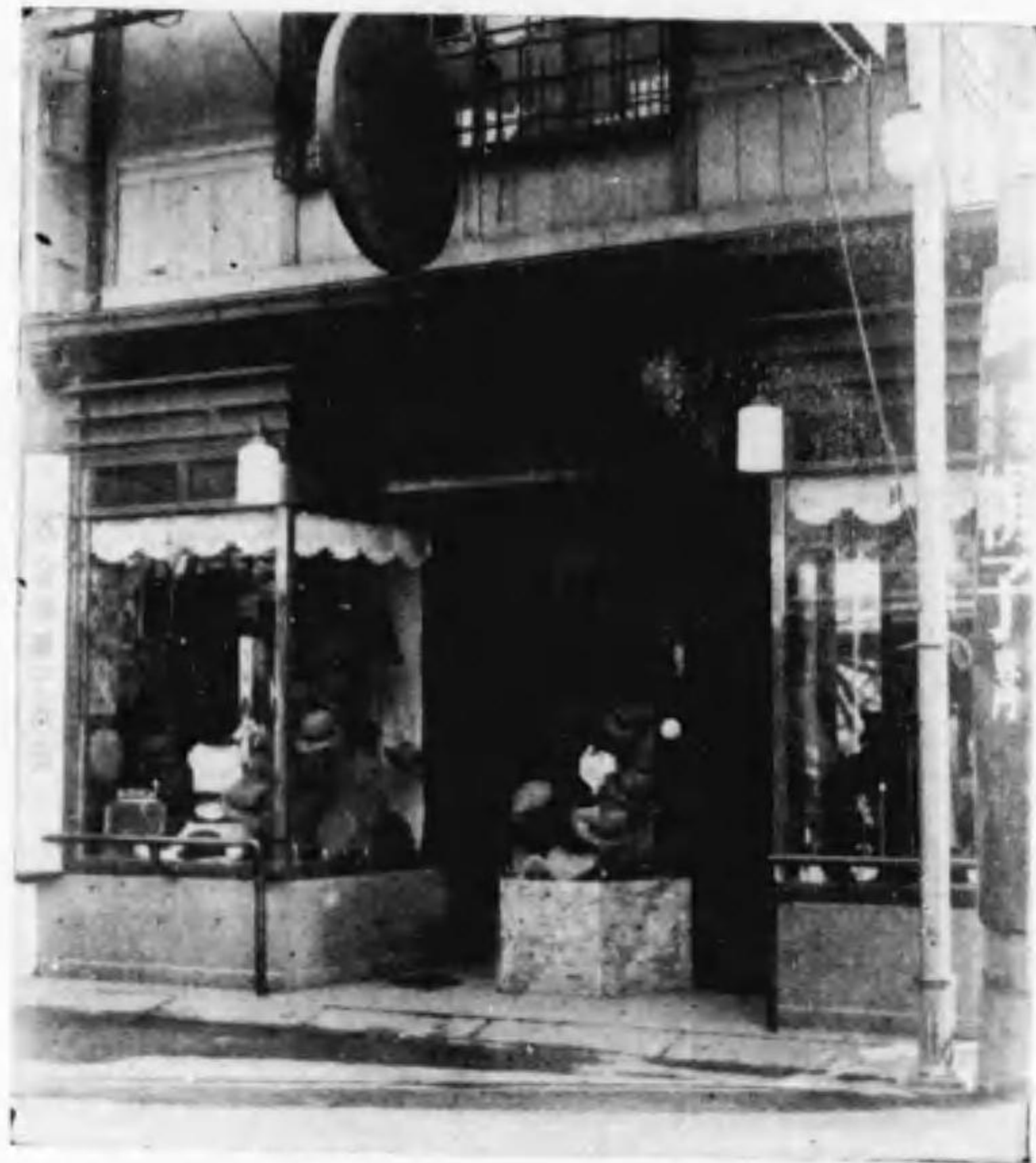
岡山市古京町
電話二二五四番

..... ログマは肴・月名は酒

..... 景光の會飲試月名



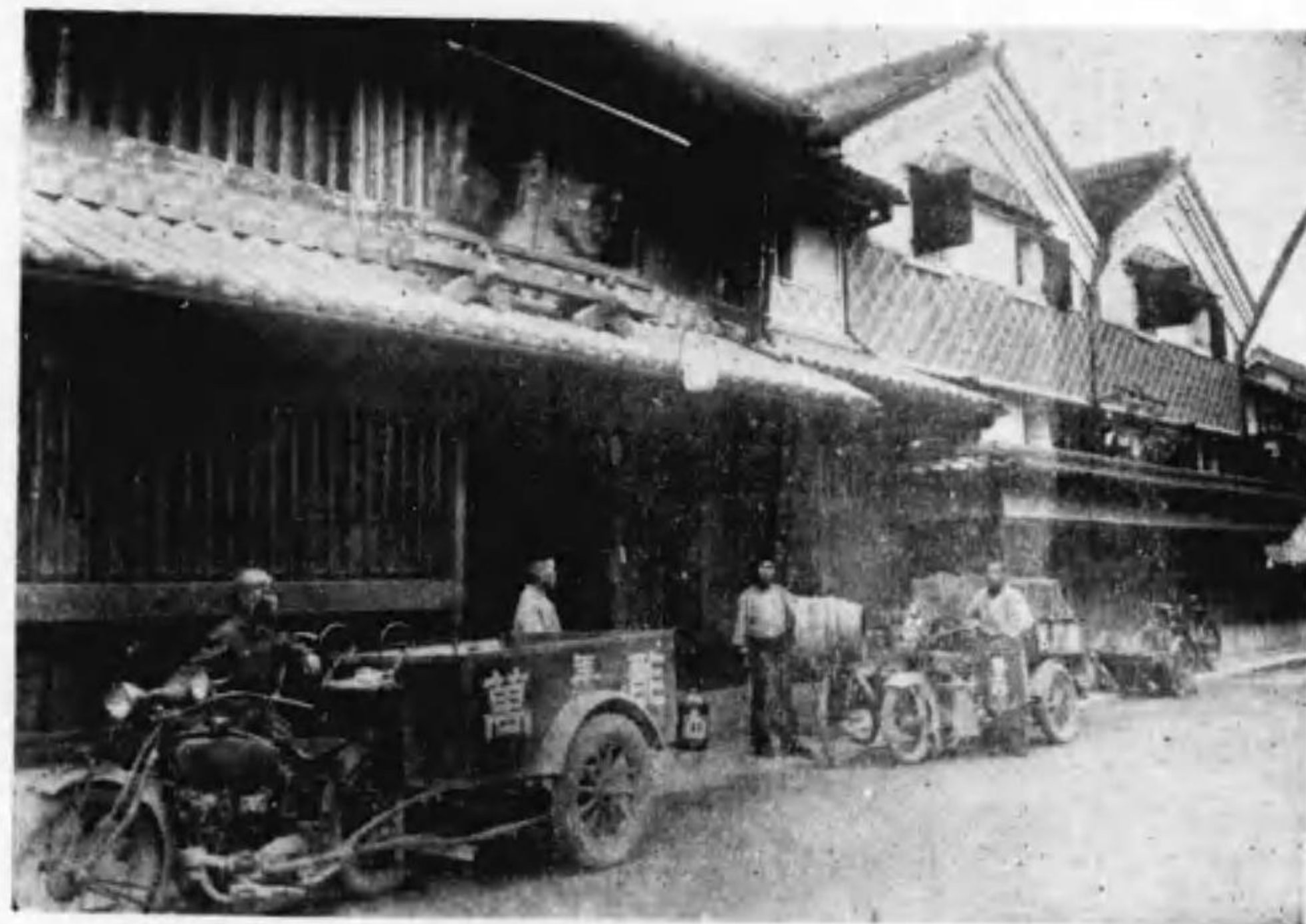
兒島屋西支店
岡山市下之町
電話五〇八〇番



内外各種
帽子専門

金澤帽子本店

岡山市中之町南角
電話二〇八三番



萬年酢釀造元
久保商店營業部

岡山市古京町
電話二七一三番



店理代總一ヤイタントスチツリア
賣販種各一ヤイタ車動自スビエ

社會式株事商ヒサ了

角南銀日下山内市山岡
番二六七五話電



武術道具製造界の權威者
我が岡山に誇る小林尚武堂

小林尚武堂

岡山市上之町
電話五一五〇番

洋家具類
室内裝飾
一式



【寫眞】
上 店內の一部
下 階下の一部



小寺洋家具店
岡山市上之町電停南角
電話三一五四番

井物一式
御食類
洋食類
一拾五錢
一拾五錢
大コップつき出し
アサヒ生ビール
麵五錢より



名代三俣食堂

岡山市千日前

テント各種
室内裝飾
シート各種
裝飾並ニ貨物
貸テント

陸軍御用達

分島テント商會

營業所 岡山市萬町
電話四九七三番
工場 岡山市師團道
電話七〇五七番



岡山市野田一丁目
電話二四九六番
大阪番

扇子團扇カレンダー
製造
印入手拭タオル風呂敷

丸山三藏本店

是し無畧商る勝に實誠店



マ
ス
ヤ
銘
仙
店

岡山市中之町
電話四五三五番

電 氣 工 事
電 氣 機 械 器 具



會社
中 央 電 氣 商 會

岡山市岩田町
電話 六七五二番



喜
多
屋
百
貨
店

岡山市上之町
電話二〇九四番

!! 店 關 機 習 練 徒 生 商 備 吉
!! 店 賣 簾 の 貨 百 良 優



辨
當
製
造
販
賣
團
体
注
文
に
應
ず

店 本 總 野 好 三

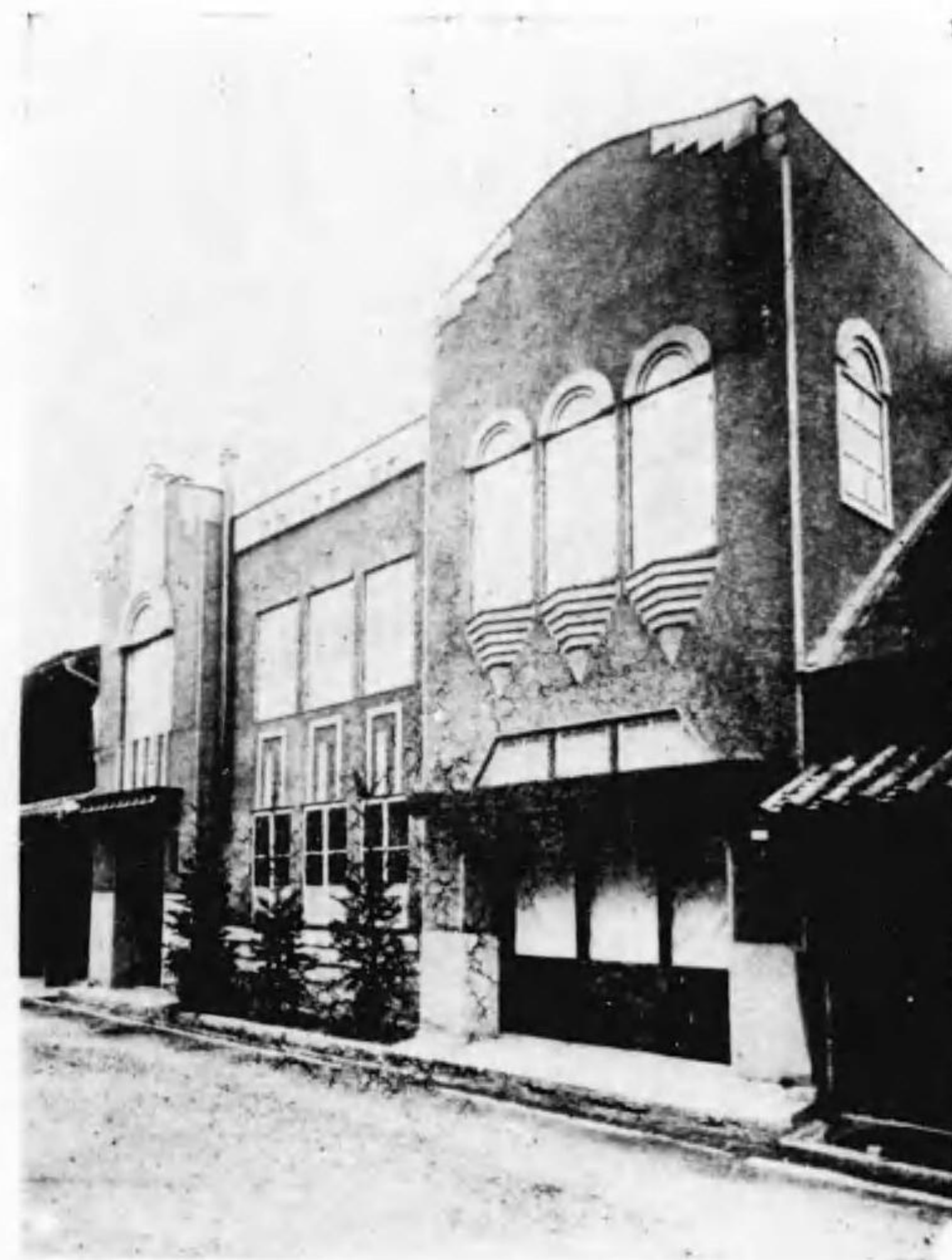
前 驛 市 山 岡
番 九 二 〇 三 號 } 話 電
番 八 二 一 三 號 }



靴下の御用は

マツヤ靴下専門店

マツヤの……電話は六二三四番
 マツヤは……内山下城下電停南辻東
 マツヤは……鐘紡絹靴下特約販賣店



國産漆器・膳碗重箱
 木皿盆類・食器各種

林漆器株式會社

岡山市下市町
 電話二三一七番
 私書函岡山局二七番



飲んで借るより
 禁酒で貯金!!

洋前食
 速出

岡山禁酒會館

岡山市城下
 電話(三八二五)番



正

正榮堂本店

吉備園子本家製造元
 岡山市後樂園口
 電話五二一九番

岡山名物荷物に
 買おて歸り吉備園子

目科業營

金 屬 腐 蝕 耐 用 プ レ ー ト
 金 屬 高 級 諸 君 用
 記 念 品 賞 状
 水 力 印 刷 機 門 標
 朝 日 印 刷 機 門 標
 セ ル ロ イ ド 製 徽 章 門 標



通車電町番一市松高 店支

岡山市西山下(電車停留場前)
 岡山標記製作所

電話 四八〇六番
 振替 大阪 八六一〇一番

★ 徽 章 ★ マ ー ク ★ メ ダ ル ★

内 外 毛 宗
 各 種 宗 類
 手 藝 材 料 及 製 品
 組 紐 水 タ ン 類
 扇 子
 賣 小 卸

岡山市下之町

い わ る や 糸 店

店主 板谷重吉

電話 三四四六番
 振替 大阪 三七三七番



國旗、裝飾品、花かるた、三月雛人形
 五月のぼり、小供乗物、蒸氣電氣玩具
 教育高級玩具、模型飛行機ト材料

橋本屋號商店

岡山市西大寺町電停前
 電 濟 三 一 〇 七 番
 振替 大阪 一九七九番



備前名物

祖元 水 晶 煮
 料 寸 理 燒 本 家 小

岡山市上之町電停南角
 電話 六一〇六番
 梅



部一の園庭上階



壇花間の菊



部一の間小



岡山県自動車学校練習場



岡山県下で交通界に最も貢献して居るもので特筆の要あるものは岡山県瀬戸自動車学校である。学校は山陽鉄道で旅行した人は皆知つて居るであらう。備前瀬戸驛前に在り元自動車講習所として設立され古い歴史を有するものであるが昭和四年四月岡山県瀬戸自動車学校となつた。県下唯一の自動車運轉者養成機関で五千坪の大練習場と十数台の練習車を持ち、近縣に其の陣容と實力を誇つて居るが其の内容の允實せる事はおそらく關西第一であらう。就學期間僅か二ヶ月學費全部で五十圓全國公認自動車學校中稀に見る低廉さで寄宿舎の設備も完全であり卒業生は既に千數百名を算し其の殆ど全部は岡山縣を中心に近縣至る處に分布され自動車交通界に活躍して居る學校では卒業者の就職方の幹施を無料でして居るが此の學校卒業の運轉者は一般から非常に歓迎され目下各地から引張だこの状態である。

一ヶ月卒業(暑中無休)卒業生就職備前瀬戸駅前
募集岡山縣瀬戸自動車學校
 (學則贈呈) 學費低廉全國無比 電話一〇二〇番
 振替大阪四三三番



皆様にキット御氣に召す
 玉龍赤丸醬油をお奨め致します

近藤敬次郎商店

支店 岡山電氣
 電話二八〇九番
 本店 岡山島話
 電話一〇八番



岡山市西大寺町北側中程
藤原杖次郎商店
 電話四八五四番

…流行の袋物…鞆…トランク…
 旅行用具一式

岡山長旅館

岡山長旅館
電話
三〇八〇番前



★ 點満スピーサ ★
★ す迎観を体團 ★

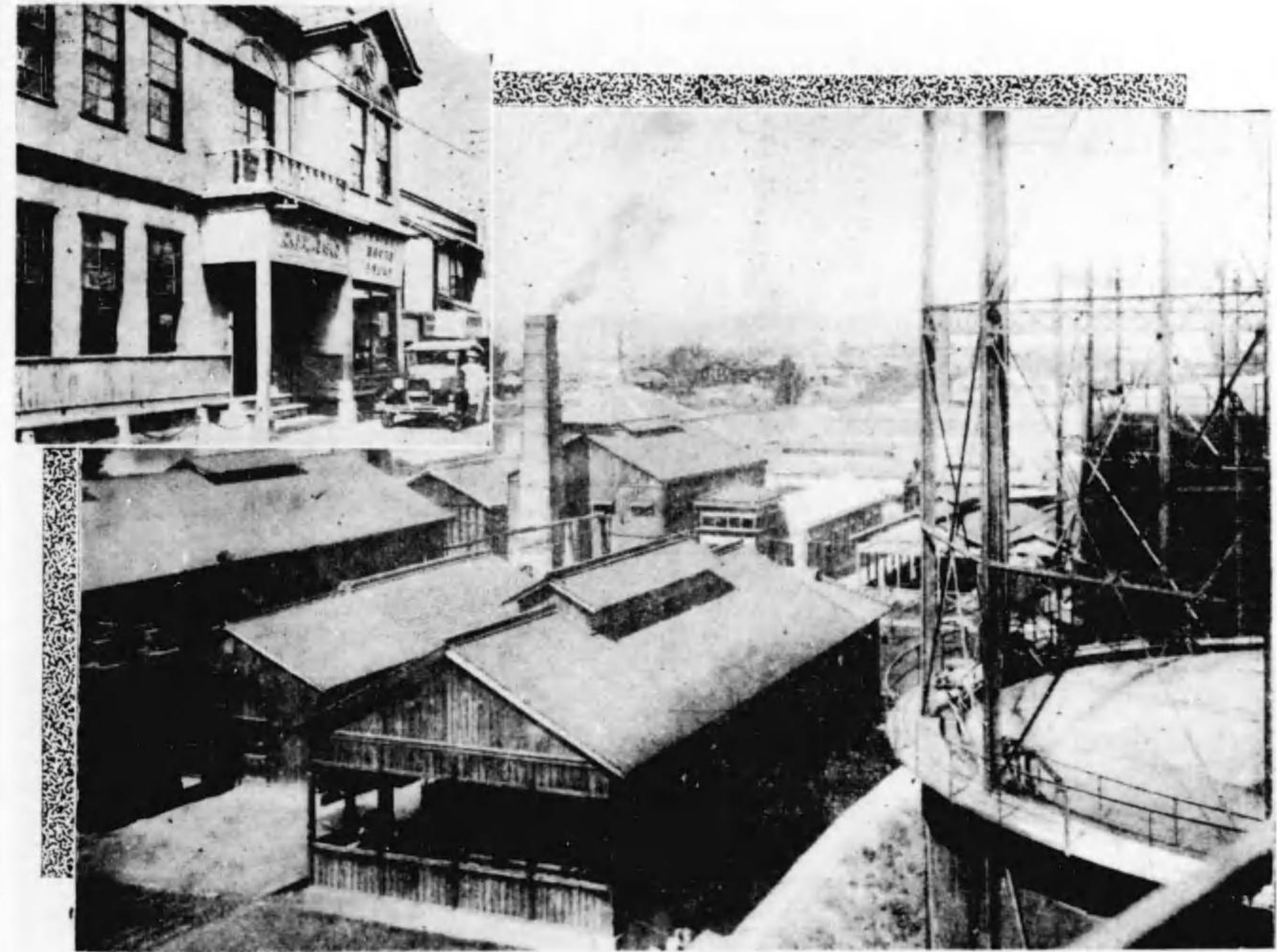


岡山名物

吉備團子・米の成木
鶴の玉子・水蜜桃

高塚土産物店

岡山市駅前
電話二二二二番



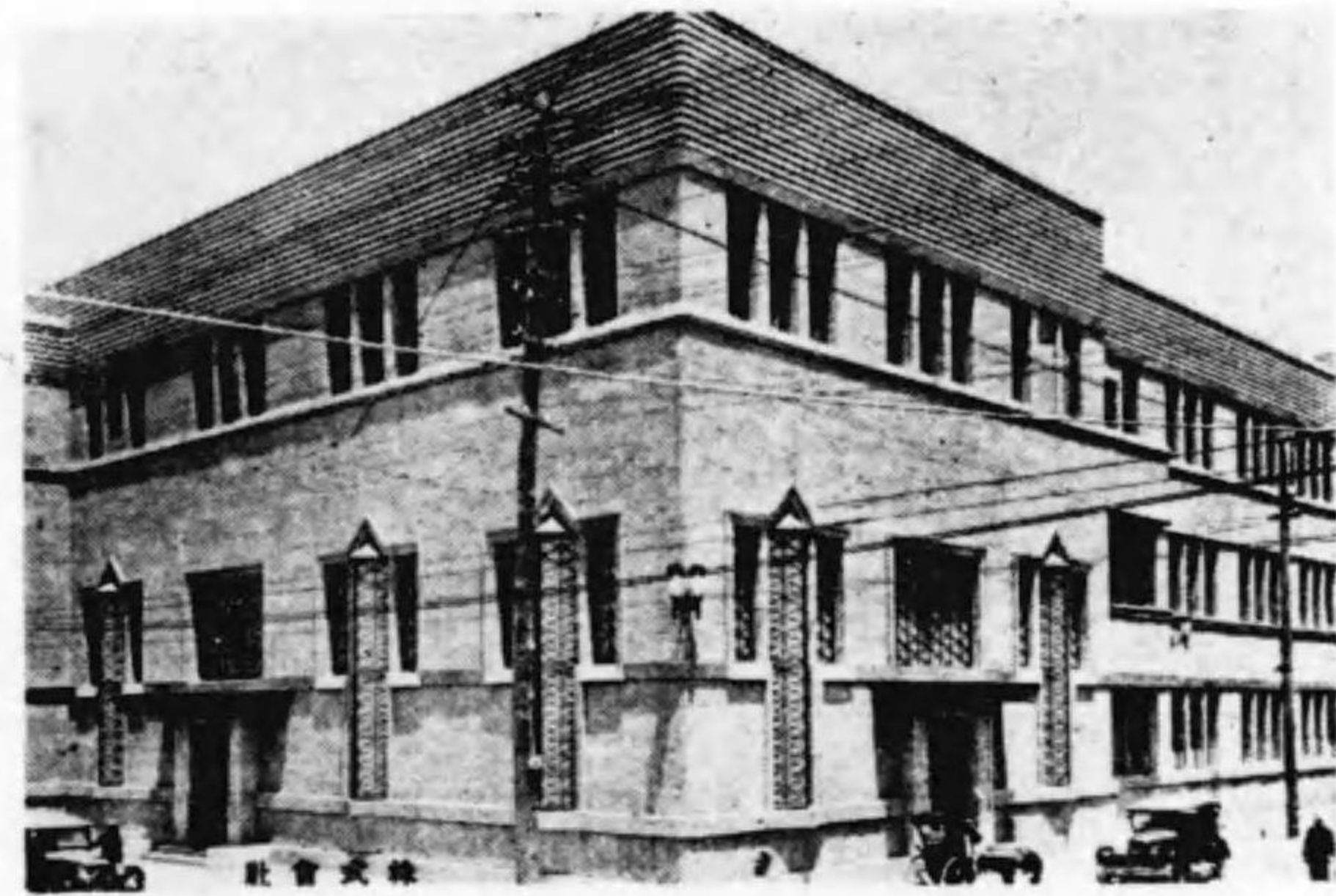
明説眞寫

り在に隣南の館本は所列陳の具器斯瓦 社本社會式株斯瓦山岡 【上】

クンタ斯瓦と部一の場工社會 【下】

岡山市金庫
株式會社
中國銀行本店

岡山市内山下
電話代表六八〇一番





店服吳原高天

岡山市上之町
電話二二六四
二五六四番

吳服はまてん



ピアノ音活動
小型

太田洋行

岡山市上之町
電話五九〇七番

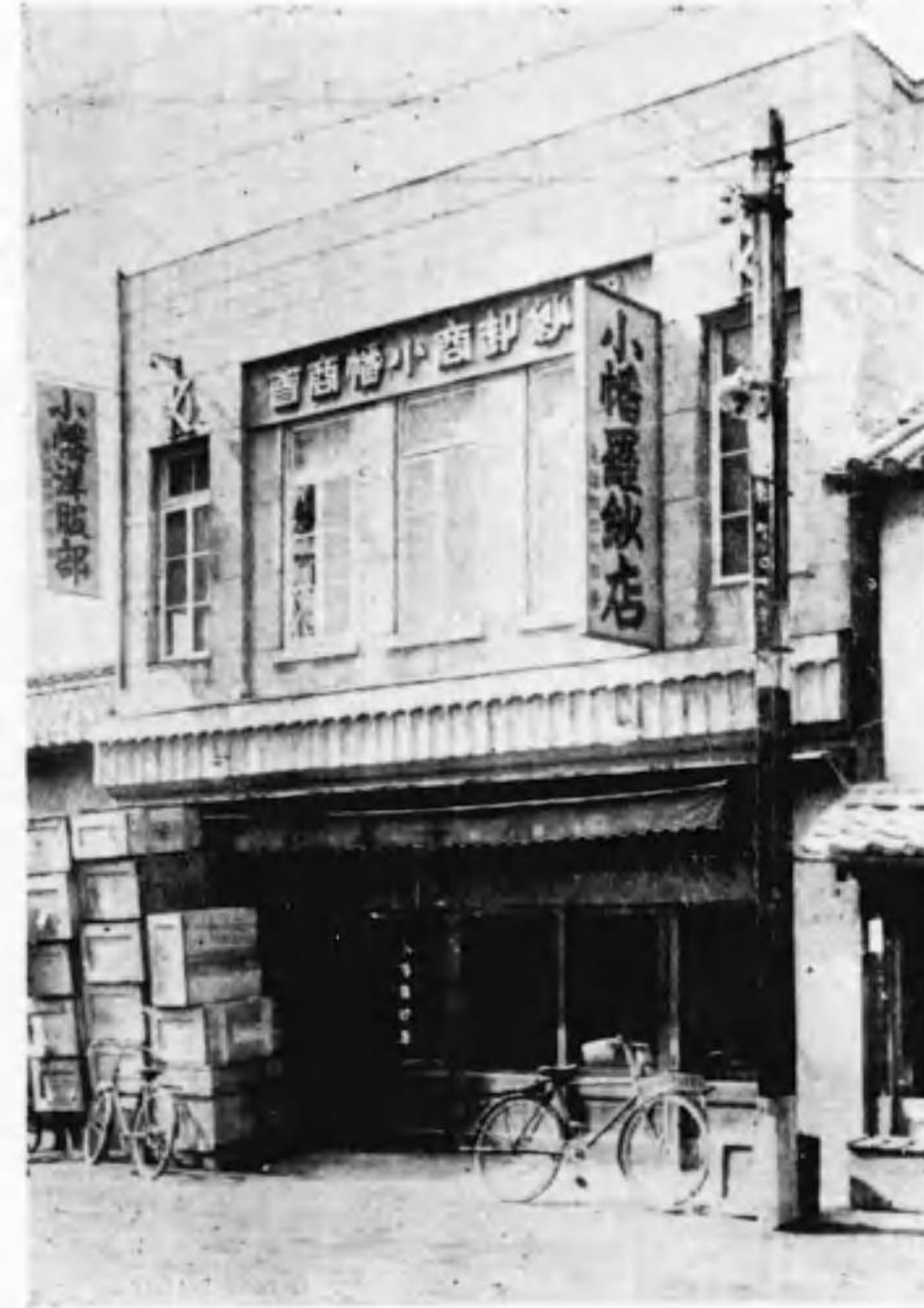
中國一の樂器店



オスター
各種万年筆
製造販賣及
卸小賣商

小野萬年堂

岡山市下之町北角
電話六五四七番
振替大阪六六四九番



岡山市内山下三六電車通

小幡羅紗店

電話四四六四番
振替大阪四〇六八〇番

岡山水産物代表品
自慢で名高い
カネウの製品



カネウ磯貝蒲鉾店

岡山山田市油町角
電話三六三二番



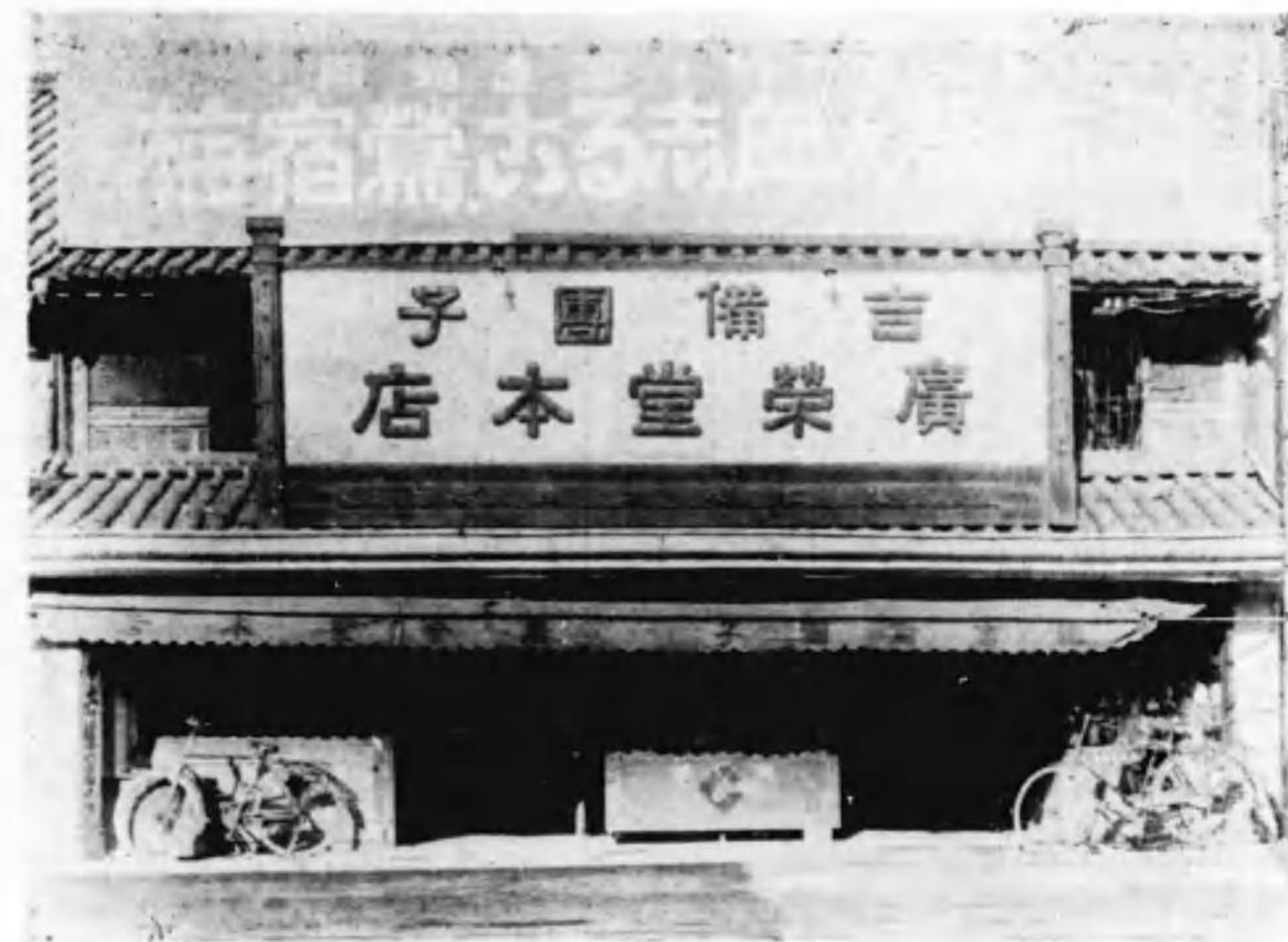
全店内の一部

洋食と御壽司は
岡山驛構内の食堂へ



三好野食堂

岡山驛構内
電話五九三七番



本店
岡山市中納言
電話二八四番
支店
岡山驛前
電話五五〇番

吉備團子本家

廣榮堂



鳥源商店

生島肉問屋 鳥源商店

岡山市紺屋町
電話二八四四番
ニワシヨ



全京都出張所

陸軍御用達



寫真機並材料
ラジオ並部品
電氣器具
★
★
新古カメラ交換買入
ラジオ月賦販賣



エレクトラチオ發賣元
エレバム真空管縣下代理店
本店 石井コダツク店
岡山市小橋町
電話五二五番
支店 上之町の店
岡山市上之町電停南入口
電話六〇三一番

喫茶
洋食堂

散歩の御歸りには
ツトお氣に召す皆様
方のカメヤへ!



カメヤ

岡山市西大寺町
電話四九二二番



婚禮調度御履物

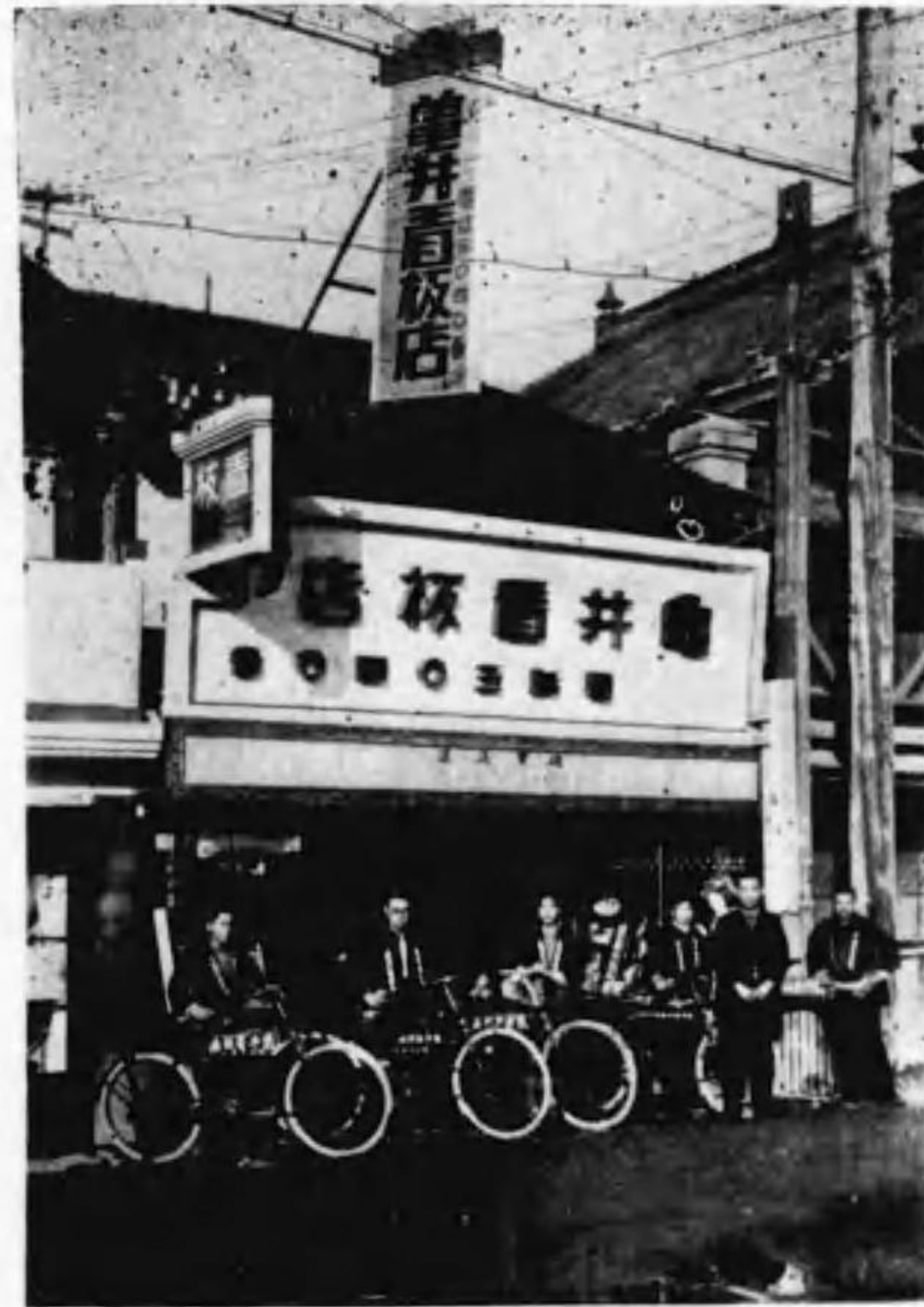
七福ハキモノ店

岡山市榮町二三
電話三一三八番

技術で名高い!!
看板の百貨!!

龜井看板店

岡山市柳川筋劇場南隣
電話五〇四〇番



塗料の百貨

阿部太良一商店

岡山市濱田町
電話三四八五番





← 階上の一部
〔其の一〕



→ 階上の一部
〔其の二〕



← 階下食堂の一部

川洋割
魚料
理食烹

粹
來
亭
本
店

岡山市東中山下
電話 三三〇八三九
三五〇八三九
五三〇八三九
番番番



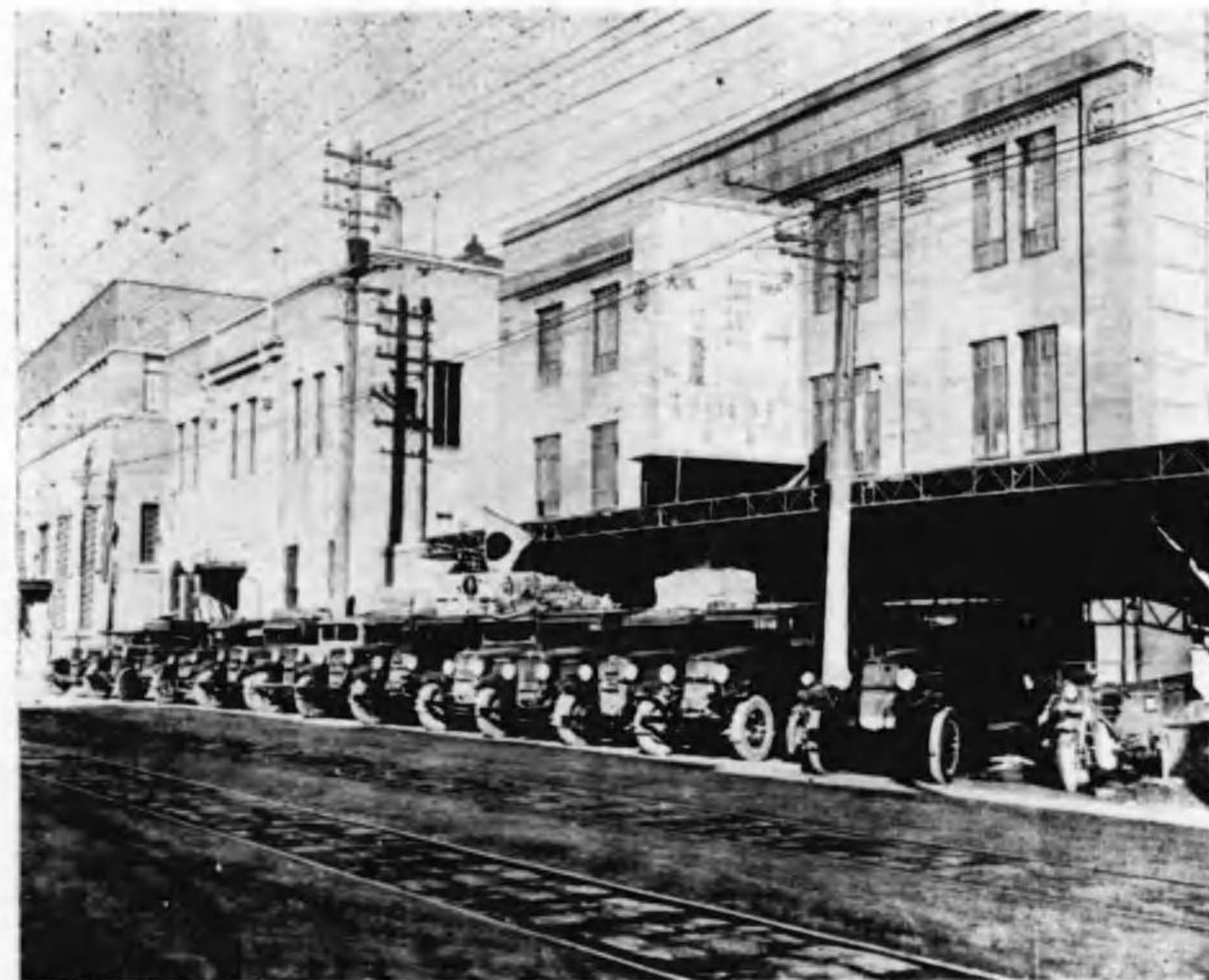
右 粹來亭の玄関
左 全日本の間玄関



化粧品と
婦人美容の

店ワカラム

岡山市中山町
電話二五八六番



トラックの……ヤ
カッタ

岡山市内山下電車通り
電話四四八・五八四二

岡市上石井
山脇傳十郎

一吉備團子 壹箱

右今般岡山縣下行幸ニ

際ニ獻納出願之趣ヲ

以テ傳獻被致候ニ付

御前ニ差上候此段申

入候也

明治四十三年十一月十五日

官園亭壽邊達千秋

岡山縣知事吉留殿

名物界に燦然として輝く

岡山名物

吉備團子!!!

業界の權威!

本家 山脇山月堂

——最高の名譽——

——最古の歴史——

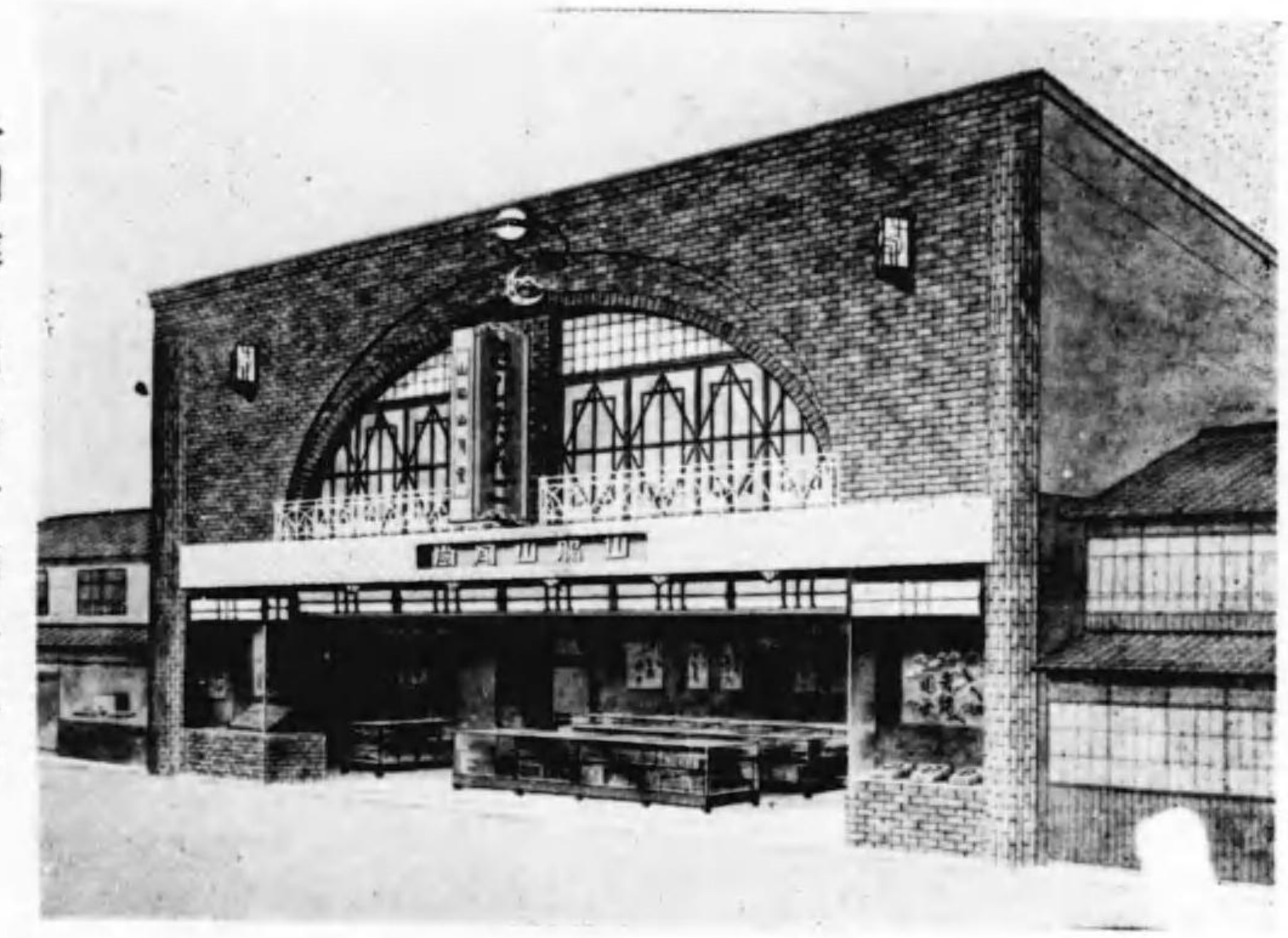
——最大の製産高——

吉備團子製造元
山脇山月堂

郷土紹介の先驅!

日本一 吉備團子

名聲巍然として高し



★吉備團子宗家「武半」より繼承

★創業明治十四年二月

本家 山脇山月堂

岡山電話三三三番
山脇三六八番
前六三七番
中七六八番
通八七六番
り番三三三番

昭和十年四月十六日 印刷
昭和十年四月二十日 發行

【定價金貳圓】

發行兼
著作權者

三 上 一 和

岡山市巖井壽町八拾八番地

印刷所

左 間 印刷所

岡山市富田町百拾番地

印刷人

左 間 茂

岡山市富田町百拾番地

岡山市巖井壽町八拾八番地

發行所

岡 山 宣 傳 社

電話七〇四六番

宣傳の合理化は!!

宣傳社の御利用から!!

▼ 宣傳の合理化は 有難いもの ▲

▼ 一回の宣傳費で 三回出来る ▲

寫眞部を新設致し
ました。どうぞよろ
しく

主任 小畑雄次郎

岡 山 宣 傳 社

三

電話七〇四六番
上 一 和

終

